京城日報

十二日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢（郵稅前金）一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲新紙內一行金壹圓五拾錢▲特別定一行金拾錢增▲三號活字の一行は二號活字同樣▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 豐口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯用三四五番 一二一四番 營業用三二六番 一六〇〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

時間表 [illegible]

◎獨軍三日に亘り退却
露軍のツアルトリスク占領

露軍はツアルトリスクを占領せり獨軍は同處より撃退され三日の行程を走り退却せり其後敵は之を奪回せんと試みしも失敗せりツアルトリスク占領の結果露軍はコルキ地方に於ける獨墺軍の側面を威嚇するに至るべし敵は羅馬尼國境附近ボヤン方面より轉回運動を試みんとせしも之れを撃退せる爲め露軍は依然戰略上重要なるサバグラ附近の高地を維持し居れり（露都電報）

◎即位期日
二月六九兩日の中

即位期日は大典籌備處より二月六九兩日を擇び袁總統に其の決定を請へり（北京特電）

◎露太公と獨紙

獨逸諸新聞はゲーオルギー、ミハエロウイチ太公及びコザコフ氏一行特使の渡日に關し種々臆測的誤報を傳へ居れり（巴里電報）

雜報

◎支那當面の問題
小幡書記官談

大阪滯在中の小幡支那公使館書記官は京都に赴きたる上東上すと往訪の記者に語て曰く、目下支那當面の問題は南方各地の獨立宣言なり此問題の果して如何なる結果を招來するか恐らく何人も豫想する事能はざる可し假令へ新革命問題如何に成行くも我日本より見れば對岸の火災敢て瞠しく騷ぎ立つるに及はず▲予は二十六日に北京を出發して二十八日天津に出で同地に二泊して津浦鐵道によりて東京に出で同地に一泊上海に引返し便船を求めて歸途に就きたるは雲貴革命問題の形勢視察と臆測するものあらんも事實左る任務を帶び居らず一昨年夏赴任して今日に至るまで滿一箇年北京に居住せるも此間曾つて南方地に遊歷したる事なし▲南京には參謀總長に新任されて今尙ほ赴任せず旗色頗る曖昧なる馮國璋あり予は南京に至り領事館に一泊せしが別に不穩の模樣を認めず▲北京にては獨逸公使ヒンツエ氏旺んに活動しつゝあり將來大に恐るべしといふものあれどヒンツエなぜは大活動の出來る男にあらず別に心配するに及ばず▲今度農工總長周自齊は特派大使として日本に來る由御大典奉祝の意味にて和當の人を大使として日本に特派の意ありしに今回露國太公御來朝と聞きこの機會に特派せんとするならん周自齊は古き米國留學生にして當初は隨分辣腕を有する外交官なりしが近來兎角引込思案主義なり▲段棋瑞暗殺說は一時の風說として喧しく流布されたるものなるが恐らく事實ならざるべし段は予の北京出發までは健在なりしが其後も鄙かに形勢觀望の態度を持續せる事と信ず云々（大阪支局記者）

◎滿洲の輸出入
概して尙は不味

海路大連よりする滿洲の輸出入貿易は昨冬來稍々閑散の姿にして先づ不振といふに近し輸出不振の事實は埠頭堆貨の捌けざるに見て之を知るべく而して其の堆貨は大豆、豆粕、小豆、包米、其他雜穀及び石炭等を加へて最近約二十六萬噸に達し前年同期に比し八萬噸近くの多きを占むる有樣なり斯くの如く

▼輸出品の停滯 する原因は內地に於ける大豆及び豆粕の取引業者が昨年見越輸入を試みて失敗したるに懲り一般に其の輸入を手控へ居ると大連に於ける豆粕製造商が例年になく激增し生產過剩に陷りたるが爲にて船腹缺乏の結果昨冬來持越積取船の入港思はしからざるも亦其の堆貨增大の一原因と認むるを得べし尤も新春第一船として五日梅丸の入港あり打狗向け粕五千三百餘噸を荷役し去り八日には大信丸來りて神戶行粕一千三百餘噸、九日には北京丸入港して基隆行粕十七八萬枚を積取り猶ほ鹿港丸、歷耶丸、福岡丸、色丹丸の特產積取船次第に入港すべき筈なれば本月中旬迄には約百萬枚餘の堆貨を一掃すべしと期待せらるゝも輸出不振は猶ほ當分持續するものと觀測され居れり

▼奥地よりの搬出 は引續き之れあるも本年は平均昨年に比し頗る暖氣にして大連の如き昨年一月の氣溫は平均零下三十一二度なりしに本年は今日迄のところ平均零下二十五六度位に過ぎず奥地たる長春の如きも隨つて昨年より寒からず之が爲め河川道路等未だ甚しく氷結せず滿洲は此の氣溫の關係上勢ひその搬出の遲滯を免かれずして出廻り充分ならず其れにも拘らず大連頭埠の堆貨約二十六萬噸に達せるは前記の如く一に輸出不振の致す所にして之を要するに今日の堆貨は奥地よりの出廻り增大に基づくものに非ずして輸出不味の致すところに外ならず

▼特產市場の狀況 は右の結果概して取引不振を免かれざるが幵は主として大豆及び豆粕の事にして歐洲戰亂に伴ふ勝敗不測の爲め昨年末頃より不味に陷りたる豆油は頃來俄かに頭を擡げ兩三日前の如き約一圓高の十二圓六十錢といふ相場を來たし大豆及び豆粕相場も之れに伴れて稍々引立ちて見えたるが這は我が艦隊の出動に依り一時危險視されたる地中海の航路が安全を保障されたりとの見地に基づき豆油の歐洲行輸出に對し幾分樂觀を生じ小寺筋の買物など出でたる結果なり去れど特產市場が眞に好況を呈し來るは二月以降輸出の漸次活氣を帶び來れる時期ならざる可らず

▼輸入も亦不振 なるが這は輸出不味に伴ふ購買力の不進と結氷猶ほ完からずして奥地との交通不充分なる等に因るものなれど輸入は此程來銑塊昂騰の影響を受け綿絲布を初め諸雜貨等何れも少しく活氣を呈し居れる傾向あり砂糖の如きも相當に荷動きある模樣なり而かも概して輸出と共に輸入も未だ振はざるが故に新規資金の需要起らず金融閑散にして朝鮮銀行支店の如きも稍手持無沙汰の態なり（十日大連特報）

◎鑛業規則發布
二月上旬ならん

朝鮮鑛業令の改正に伴ふ朝鮮鑛業施行規則並に朝鮮鑛業登錄規則は當局に於て既に編成を了へ參事官室に廻付したれば不日審議に著手す可く、二月上旬までには總督の決裁を經て發布の運びを見る可しと因に施行規則の原案は四十二條、登錄規則は七十二條なるが發布の曉には多少條文の增加を見るやも圖られずと

◎驛長會議召集

鐵道局にては京釜線大田以北京義線新幕以南及び京仁線の各驛長を召集し來る十五日午前十時より南大門驛に於て驛長會議を開催し事務上の打合せ等をなす由なるが本局よりは營業課長三本參事出席すべしと尙會議終了後懇親會を開く可しと

◎勝田總裁東上

朝鮮銀行總裁勝田主計氏は貴族院議員として議會に出席の爲め十三日午前八時三十分南大門驛發汽車にて東京に直行することゝなれり、歸任期は未だ確定ならざるも二月に開催の筈なる鮮銀定時總會にも列席の要あり旁々早くとも二月末までは滯在す可しと

◎ス博士の旅程

過般入京山本旅館に滯在中なるスター博士は十二日午前總督府に小松局長を訪問せり同博士は十二日京城を發し十四日安東に赴き十五六の兩日奉天見物の上十七日安東縣に歸り十八日義州、十九日安州觀光の後廿日再び入京廿四日まで滯在す可しと

◎新浦地方明太豐漁 咸鏡

南道新浦地方に於ける明太漁業は昨年末までは不振不漁の狀態にて漁民は大に悲觀し居りたるが一月三日より同八日に至る五日間に於て俄然約四千馱の漁獲ありて本期間合計一萬馱に達し平年の約半數を漁獲したり取引價格一馱二十一圓生魚にて十六圓なるを以て漁獲高に於ては左まで多額ならざるも價格は既に昨年以上に達し一般に活氣を呈し居れりと

◎隈部警務部長巡視 京畿

道新警務部長隈部親信氏は京城各分隊警察署に著任挨拶旁々巡視すべきが其の日程左の如し

▲十二日
午前九時三十分 本町警察署
午前十時二十分 高陽警察署

▲十三日
午前九時三十分 鐘路警察署
午前十時二十分 昌德宮警察署

▲十四日
午前九時三十分 龍山分隊

▲十五日
午前九時三十分 京城分隊

因に服裝は將校は通常禮裝下士以下は軍裝警察官は小禮服に勳章記章全部佩用すべしと

◎兩聯隊長の歸任

過般來初年兵教育狀況視察の爲め入京中なりし羅南駐箚砲兵聯隊長大佐玉澄銑次郎同騎兵聯隊長少佐太田格廣の兩氏は全部の視察を終了し十二日朝龍山發列車にて歸任の途に就けり

◎驛長の異動

鐵道局にては十二日附局報を以て左の如く驛長の異動を發表せり

新幕驛長 原武七 松汀里驛長を命ず
松汀里驛長 中澤勝治 三浪津驛長を命ず
三浪津驛長 梅田利喜雄 新幕驛長を命ず

◎第九師團衞戍講話

第九師團司令部にては毎月一回開催すべき衞戍講話を來る十五日午後一時半より三十五聯隊將校集會所に於て開催する由なるが當日軍師團の參謀長及び將校同相當官全部出席する由

◎勝田總裁披露宴

勝田朝鮮銀行總裁は新任披露の爲め朝鮮ホテルに於て十日夜は官界の主なる人々を十一日夜には民間側有力者を招待し盛宴を張りたり第二日の來賓は吉原野田正副總裁、各國領事、商業會議所議員、銀行會社員、新聞通信社員等の主なる人百五十名にして主人側は勝田總裁を始め水越三島木村三理事各局課長其他高級行員出席し七時食堂を開き宴酣なるや總裁より前任の挨拶あり之に對し吉原東拓總裁は來賓を代表して謝辭を述べ撤宴後別室にて歡談九時半散會せり

◎久芳氏母堂逝去

總督府人事課長久芳直介氏母堂は豫て二豎の冒す所となり山口縣の郷里に於て療養中なりしが藥石效なく遂に逝去の報ありしかば久芳氏は十二日朝南大門驛發汽車にて急遽歸郷したり

◎北京より

▲新帝國內閣官制 支那政府は新帝國の內閣官制案を起草して六日政事堂會議に提出せり其要點を擧ぐれば（一）總理大臣は一切の政令を爲すに大皇帝に代りて責を負ふ件（二）職權の規定（三）各大臣の國務に參與する辨法及び制限（四）內閣會議の規定及び其會議事項の列擧（五）內閣組織の程序及び交涉の方法等なるが政事堂は一兩日中に臨時會議を開き討議を爲すべし

▲恩典經費豫算案 皇帝即位後恩典經費に關しては大典籌備處より豫算草案を提出せるが前日其認可を經財政部に交付したる由其恩典範圍は市民大酺令、商年恩賜令、慈善賜金令の三項なりと

▲中央の行賞遲る 各省軍民長官は均しく前後晉封せられたるに只中央に於ける功勳者多數あるも其封賞せらるゝものは極めて寥々に屬し外間種々の臆測すら爲すに至れるが政界の某要人は之れに關し中央大官の斯く遲るゝは二つの原因あり即ち一は大總統は此事に對し甚だ愼重とし論功行賞は毫も洩れざるを期せる事二は中央に於ける功勳の人員各省に比し多數なるを以て其調査に亦時日を要し居る爲め等にして時局には何等の關係なしと語れりと

▲皇室典範の起草 皇室典範は現起草に著手せんとしつゝあるが當局は清朝制度に熟通し居れる者を之れに參與せしめんと今回伊克坦溥倫、寶熙、瑞朗の四氏を顧問に聘せりと

人事消息

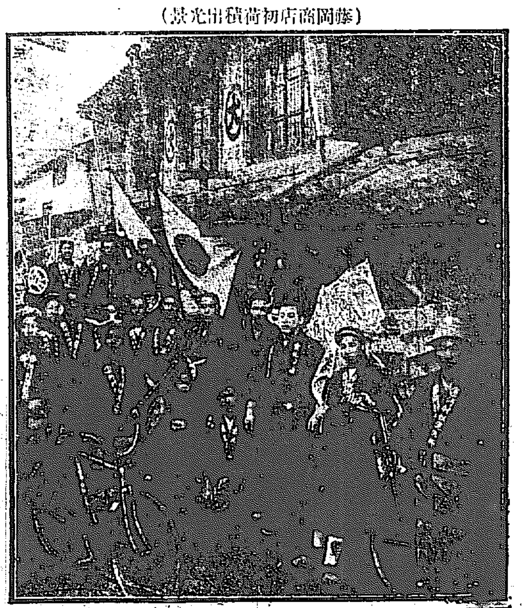
▲橋本柳吉氏（實業家） 十二日午前南大門驛發奉天に赴く

南言北語

白佛方面の英佛軍振はず巴爾幹の聯合軍亦たサロニカに引つ籠つて動かざるにストリパ河畔のガリシヤ露軍は破竹の勢で墺獨軍を蹴散して居る處は痛快だ▲愈々最後の決戰は露熊獨鷲の龍攘虎搏らしい▲波蘭戰で蒙た露軍の傷痍も日本と云ふ親友がウンとお腰を抑して居るから早く癒えよう▲其うなれば露軍も思ひ切つてやれる譯だから此方も大に力み甲斐がある其うなくてはならぬ▲雲南軍は何うも云ふ程ではないらしい今の處兵器と人員の充實に一生懸命だとの事だ▲其の充實には第一に大金が要るつまり買收で捏上げる譯だから大分苦心を要する▲廣西の陸榮廷が北京政府へ廣西も革命黨に買收せられ相だから早く金を送つて呉れと電報した▲袁總統が之れは何うも臭いと首を捻つたのは尤も千萬オイ其れとやらうものなら陸將軍はペロリとやるかも知れぬ▲袁總統が神經衰弱で卒倒するのも御同情申す敵も味方も油斷も隙もあつたものぢやないからナア▲帝政黨と反帝黨は最う鐵砲で擊ち合ひをやるかと思ふと盛に惡口の吐き合もやつて居る▲蔡鍔が雲南から「汝は君憲に贊成し共和を消滅す實に中國の罪魁袁賊の走狗だ」と電報で段上將軍を罵倒すると▲段上將軍も決して敗けない早速奉天から罵り返して蔡は帝政贊成の筆頭否發起者でありながら忽ち豹變した▲而も其の豹變して忽如反旗を飜したのは某事業に關し其の願が容られなかつたからだ▲斯る女々しき輩が何うして大事が出來るかと罵り返した相な▲雲南と奉天とで電報で喧嘩して居れば命丈けは大丈夫だから此の方が樂でよからう

毎々御引立を蒙り難有奉謝候
尙本年も不相變御愛顧の程奉希上候

（藤岡商店初荷積出光景）



海陸物產委托問屋
京城南大門東市場十九番地
藤岡儀三郎商店
電話一四七番一一六四番 振替京城二〇八八番 電略フシヌはフ

絕大の價値無限の賣行 初版壹萬賣切 再版亦盡んとす
朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著 定價金八拾錢（郵稅六錢）
朝鮮語會話
●類書中の權威●受驗者必携の好資料（袖珍總クロース 四百頁頗美本）
朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最も親切なる解說者たり受驗者諸君は一讀よく試驗に對する自信を得べし
發行所 京城太平通壹丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
●大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

社告

今般弊社龍山支局を廢止し從來同支局にて取扱ひたる營業事務は全部本社に於て直接取扱ふ事に致候間同支局に對する未拂込廣告料は一月十一日以後本社經理部長の領收書持參者に御拂渡被成下度候也

大正五年一月十日
京城日報社

■開通御披露
電話五四二一番
印章版木ゴム印並ニ菓子型彫刻、堂 守山安次郎
京城本町一丁目五三

黄金の大盃にて
老母に酒を勸む＝故革丙將軍の面影
政界では隅を負ふの猛虎
家庭では春風駘蕩の好々翁

革丙將軍の名を以て天下に鳴つた子爵高島中將は鹿兒島藩士高島嘉兵衛氏の四男である、將軍は弘化元年十一月の生れだから今年

■七十三歲の高齢

ではあるが何にしても天下の豪傑を失つたのは殘念である將軍は人も知る如く文久二年藩主に扈從して禁裏守護の大任に當り戊辰の役にも勳功ありし人であるが其の立身の始めは老西郷に引き立てられた事であつた元來大西郷は維新の大業が出來ると共に皇威の八紘に輝かん事を圖り

■先づ宮中の改革

が第一要義であるといふ處から君側に非常な元氣者を奉事させたのであつたが將軍は其の時村田新八と共に此の有難き侍從の役を拜命した人である、次で明治十年の

■西南役にも勳功

著るしく後陸軍少將に陞進したので

故高島將軍

あるが明治十六年には又陸軍中將に陞り後ち大阪鎭臺司令官から第四師團長、陸軍大臣、樞密院顧問官、臺灣總督、拓殖務大臣等の諸官に歷任し後再び陸軍大臣となつた人である將軍は薩摩出身の武人であり乍ら他の將軍連と異り

■却々政治家の頭

を有つた人であつたから漸次夥多の軍人中に在つても頭角を現して天下に革丙將軍の威名を謳はれるやうになつたのである、就中將軍の全盛時代は明治十七八年の大阪鎭臺司令官時代で、當時の名聲は實に隆々たるもの、苟も大阪を過ぐる軍人並びに政治家にして

■一度は將軍の門

を叩かぬ者とては無く朝野の名士を問はず何れも皆將軍風發の縱橫論議を聽いたものであつた、然し其の後の將軍は以前に比して頗る落魄振はざるの後半世を送られたけれ共其の政界に於ける

■巨大なる彗星的

地位は依然として世の注目を逸せず陰然隅を負ふの猛虎たる觀があつた

將軍は又一面書畫骨董などに對する趣味もあつたが元來が豪放磊落な性質で其の最も敬服に堪へぬのは將軍の熱烈なる義俠心であつた、何か人から依賴を受けると甚麽事でも決して否と言はなかつた人であつたから

■中には其の爲め

に種々な迷惑をされた事も尠くなかつた、併し將軍の親切と友誼は飽くまで變らず常に困窮せる人や後進の者を救つて居られたのである、其他將軍の孝心厚き事は一世の範とするに足る可きもので將軍自身は常に清貧に晏如たるものであつたけれ共其の慈母を

■悦ばせたい許り

に金鑛などに手を出して失敗された事もあつた、當時將軍は其の鑛山から出た金塊で黄金の大杯を作り其の盃で老母に酒を薦めながら『金鑛が當つて甚麽富有になりました』と云はれたとは未だに一つの逸話となつて居る、又將軍は松方內閣の時は

■蠻勇將軍を以て

天下に鳴つた人であるけれ共家庭の人としては實に春風駘蕩何んな子供も將軍に馴れ親しむだものである（某名士談）

豪放磊落
奇談逸話に富む

高島將軍は非常に逸話に富んだ人でありました、元來が東洋豪傑風の人で其の風丰から態度からが總て大きく其のギラ〳〵する

▽鋭い眼光を閃かせ

乍ら大きな薩摩辯の聲鬱を以て語られるのは誰れにも印象に新たなると思はれます、將軍は先づ故郷の人では樺山將軍を一層鋭くしたやうな人で樺山さんがたか〳〵の變り者であるのに其の上手を行かうと云ふ人ですから隨分

▽珍らしい變り者の

人物でありました、將軍は維新の勳功者にも拘はらず同じ薩藩の元老連には餘り悅ばれなかつたやうな噂でありましたが元來が頗る豪傑肌な人で小事には一向拘泥せず何事も至つて無頓著な性質でありました、夫れで金錢とか蓄財とか云ふことは頭から意を留めず金などはあれば

▽ある丈けバラ撒く

といふ方で又鑛山などに關係されたのも豪放な性質な爲めに一つも成功しなかつたやうでした、又將軍の風變りは同じく薩摩藩の出身であり乍ら一度も山本權兵衛伯と往來したことのないのでも知られますが併し唯の一度——伊東元帥薨去の葬儀には山本伯が葬儀の係りであつた處から

▽兩雄が相語つたこ

といふ事です、將軍は又何時も非常に貧乏で從來とても家邸なども多く賣拂はれたことを聞きましたが一昨々年か只今の新らしい家を建てられたときは何れも吃驚した程です、將軍の家と云へば甚麽面白い逸話があります、それは確か將軍が

▽陸軍大臣でゐられ

た時餘り邸が粗末で薄穢いものですから——名前は鳥渡憚りますが或る人が將軍に向つて私が一番邸を建てあげませうと云ひました、建てようと云つた人は無論受負で後からお金を戴く積りで云つた事ですが將軍は一向無頓著で宜しい建てたければ建てるが好からうとの話

▽其處で家は難なく

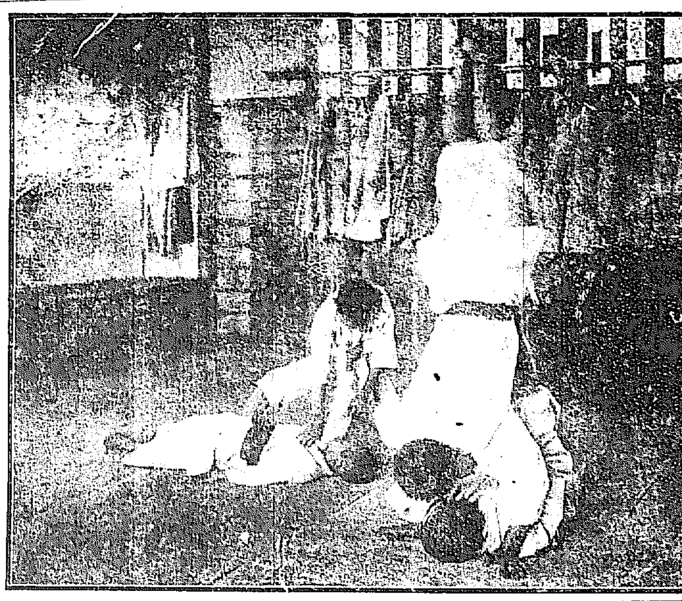
出來あがりましたが何時まで待つても金のお拂ひが無いので受負者は心配で堪らずたび〳〵將軍に催促したら、ハヽア金が要るのか俺はお前が建てたい〳〵といふからお前の家かと思つたと笑はれた事も有名な話ですが兎に角將軍は何事にも無頓著な方でありました『併し天下を料理するやうな事には』

▽縱橫の策を抱いた

人ですから何うしても東洋流の豪傑肌であります、將軍は又腕白な豪傑たる事に於ては薩摩で奈良原繁男と並び稱せられた人ですが一面又他人には極めて親切で子供なども非常になついたものと申します、又

▽隨分修業も出來た

人ですが左りとて禪宗僧侶の線香臭き所もなく隨分面白い人物でありました、粹な方では京の祇園の池鶴のお馴染などでも天下に有名です（山口太兵衛氏談）



寒稽古（一）＝寒稽古＝武德館にて

朝鮮人間の娯樂機關
活動寫眞と演劇の改良

—松井鍾路警察署長談—

朝鮮人間で演劇及び活動寫眞などは近頃大に人氣に投じ觀客は每夜殆ど滿員の大盛況を呈してゐる、是れ一には朝鮮人側に他に歡樂の巷なきと一には從來朝鮮人の風習として殊に

■此種の歡樂

が彼等の嗜好に適したる結果であらう然るに是等演藝中には隨分と如何はしいものも無いとも限らぬ、しかし相當の取締りを施し其方法の宜しきを得るならば風敎上効果を奏し得べきであらう、古來演藝は文藝の花として洋の東西を問はず

■賞揚されて

ゐる程で此の演藝なるものが社會的、敎育的、快樂的に世上人心に及ぼす感化力は蓋し尠くない所である、故に娯樂として觀覽し居る間に人情の喜怒哀樂を最も刺戟的感能を以て社會の現象を眼前に披瀝し以て容易に感覺を左右し人情を挑發する故に佛國の

■さる詩人が

『演藝は無學者の早學問』と評したのは最も適切なる語である斯る文明の花たる利益を認むると共に其反對には恐るべき弊害の伴ふことも決して尠くない或は是が原因となりて強竊盜の手引となり或は殺人罪を敎ゆる等の事が無いとも限らぬ近くは其一例として朝鮮には未だ幸に發生しないが內地に於る

■不良少年團や

ジゴマ團の如き其他各種の犯罪が其根底を例の活動寫眞や少年讀物等に胚胎してゐる事は疑ふべからざる事實である、芝居や活動寫眞は單に文明の新利器或は表情の發作のみを以て目的とするは聊か物足りない感がある人情美を挑發して實行上に於ける

■勸善懲惡の

資料に供する迄權威ある演藝でないと最も有力なる藝術とは云へない、尙一面穢つて從來の活動寫眞なるものが果して犯罪の根本的要素を成して居るとなれば是を取締るべき警察の責任は決して輕からぬ次第であると共に觀客其者にも幾分の罪はある、要するに奇を好み新を嗜むは

■人情の弱點

である興行師や香具師は何時も此の弱點に乘じて觀客を吸集してゐるのである、然るに此種の娯樂趣味に憧憬し易い鮮人中には相當地位ある人物迄盛んに演藝趣味に囚はれて情德的の筋書の演劇や奇拔なるフイルムを觀聽して欣喜し事足れりとして居る者もある、興行師の方では要するに

■觀客を誘引

するを根本の目的としてゐる爲め何等社會公安上の利害關係、或は藝術の眞價、社會風敎の如何、趣味性の向上といつた樣な事には頓着せない、營業の擴張、觀衆の意氣に投ずるもの〳〵みを以て焦慮つてゐる傾向であるから、今俄かに演藝の大革新といふものを斷行することは不可能である『併し社會の風敎上、公安上に支へのあるものは興行を禁止しつゝある、要するに演藝を好む朝鮮人には內地人の其れに比して深く指導し干涉して之を有効なる方面に利用する所があつたら蓋し何等かの

■効果を認む

べきものであらう先づ實行の如何は第二の問題として、吾人の鮮人間演藝及び活動寫眞等に關する改善の理想とする所は第一俳優及び活動寫眞の程度を昂進せしむること、第二芝居と活動寫眞とを問はず其脚本の筋書に革新を與ふることゝである、現在の朝鮮人俳優なるものは

■比較的低級

なることは免れぬ、依つて內地からでも有識な俳優と相當な脚本家とを聘し將來の鮮人俳優に適切なる敎育と技能とを敎發指導し以て彼等の品位を高尙ならしめ併せて技能の琢磨に努めしめたらば必ずや應分の奏功あるべく同時に警察の取締りと相俟つて一般觀客を

■有益な方面

に誘致するやうに努力したならば幾分面目を改むることを得るであらう、現在の有樣にては觀衆もあまり高尙なものなく爲めに無敎育者に對し强烈なる虛榮心や危險的な思想を注入するやうで警察の取締りの方から見ても甚だ困難する所が尠くない、其れで現今

■活動寫眞や

演劇には中流以上の家庭では殆ど足を向けぬ觀あり、依つて此際大刷新的に改善を施したら、理想に近い演藝界の革正が實現されたら、鮮人の風敎改善も敎訓的感化も容易なるを得べく隨つて社會的に內鮮人同化の一端に資することが出來るであらう

■忽諸に附す

べき問題でない、劇場の筋書趣向等に就ては或程度迄干涉し劇の上警察として充分取締り、

火藥爆發
三名重傷を負ふ
素人狩獵家注意

十二日午前十一時頃京城西大門町二丁目興化門內京畿道林業工夫高橋某方溫突內にて狩獵火藥爆發して傷者三名を出したる椿事あり急報に依り所轄鍾路署より警官直ちに現場に出張し取調べたるに高橋方同居人なる三名の植木職愛媛縣人尾崎又作(二六)同縣人伊藤竹太郎(二五)同縣人內野米吉(二三)の三名は同日共に狩獵に立出でんと車座になりて新聞紙に約半磅の火藥を擴げ獵銃に裝塡しつゝありしに傍らに在りたる火鉢の炭火該火藥に飛火したる爲め俄然爆發し爲めに尾崎は其火氣に吹かれて一時氣絕したり併かし間もなく甦生せしが同人及び內野の兩名は四肢顏面等に大火傷し伊藤も同樣負傷したるも同人は輕傷なり其際天井を吹き破りたり何れも應急手當を加へたる上總督府醫院に擔ぎ込みて目下加療中なるが三名共多分生命に別條なかるべし

湯屋荒の曲者

仁川府居住原籍廣島縣御調郡美濃郷村字三成一二八幸一長男平民無職高橋惠與(二二)は一月十日午後七時頃仁川敷島遊廓別府溫泉に入浴中浴客なる花町飮食店福家泰一郎の所有マント一枚莫大小一枚價格三十圓のものを竊取逃走仁川龍洞鮮人旅館に潛伏しゐたるを石川中島兩刑事に發見逮捕され取調の上本人は本月八日京城大和新地梅の屋に登樓し八圓八十八錢の遊興費を踏み倒して逃走したる曲者にして同人は昨年四月尾の道地方裁判所に於て詐欺取財罪に依り懲役八箇月に處せられ同年十一月三十日恩赦の恩典により同地の監獄を出でたる前科者なり

獨古消防手へ寄贈

本紙十一日朝刊三面に所載『自家を犧牲とせる消防夫』なる記事に對し十一日京城永樂町二丁目斯道爺より金一圓を該記事の消防手獨古市藏へ本社の手を經て寄贈あり奇特の事共なり

演藝

▲壽座○○ 十三日の替りは新派國物語大序より大詰まで、切彥山權現六助住家にて重なる役割左の如し 奴斐平、葛城民部(團三郎)まがき、梅の方(梅若)

秋月大膳、京極內匠(團三郎)岡部兵衛(梅藏)正宗一子鬪九郎、母お幸(光十郎)兵藏、柏谷右衛門(熊太郎)幸崎伊賀守、六助(長太郎)

▲御成座○○○ 十一日休演せしため十三日の替り狂言は十二日に上場の筈なりし鬼〆觀全八場、二番目喜劇松竹梅を上場す

▲浪花館○○○ 昨今の寒氣にも拘らず相變らず輕いところが御意に適ひ大入を續け居れり

▲大正館○○○ 十三日より全部寫眞を替へ主なるものは實寫歐米近時畫報、滑稽ウイツフル七後家、軍事探偵劇裡面のアマゾン全三卷、藤澤淺次郎立花貞一郎合同川頭新派悲劇『鰹の迷』全三卷三十五場、松之助、延一郎合同出演舊劇『宮本左門之助』全四卷等なり

春場所大相撲懸賞

春場所大相撲は來る十四日より開場に付き左の勝負豫想を募集す

大錦（西の海 綾川 對馬洋 栃木山）
鳳（伊勢の濱 朝潮 玉手山 大蛇潟）
兩國（釋迦ケ嶽 九州山 宇都宮 源氏山）
大鳴門（金の花 浦の濱 黑瀨川 千年川）

右十組の取組をはがきに認め勝力士の肩に○、引分に×、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し左の賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中顏合せなき時は其れを除去して計算す▲〆切は一月十五日●はがきの表面には必ず京城日報社角力懸賞係と明記の事

▲一等（一人） 無双銀側懷中時計
▲二等（二人） 上等絹織物一反宛
▲三等（三人） 上等置時計一箇宛
▲四等（十人） 上等捲煙草一ポール宛
▲五等（三十人） 福袋（化粧品日用品入）一個宛

◎溫突小火一束

▲午後三時北米町六十六番地柳樂奧和町居執達吏事務取扱人中川文三郎 [illegible]

▲李仙伊(七三)等は該土地は未だ魚尤 [illegible] 支廳に檢擧せらる

[illegible] 番地李守廟方に至り賣却せんとせる處を巡廻中の中部巡査に發見されて不審 [illegible] 取調の結果 [illegible] 面へ逃走したる旨自白せるにより引 [illegible]

天氣 ▲晴れ後曇り [illegible]

無双醇良清酒

衛生無害 品質無双

首藤合名會社吟造

精白米御小賣 キリンビール サッポロビール 醬油味噌甲萬 三矢布引サイダー シトロン 各種

朝鮮發賣元 首藤京城支店 本町(電話一一七番)

毛皮並に皮革製品廉價販賣部
京城本町二丁目(京城銀行前) 木下販賣部 電話九三八番●振替京城一五四〇番
京城黃金町三丁目(黃金遊園前) 木下製造工場
毛皮油ぬき、なめし、入念の上他に比類なき安値に調製可仕候間多少に不拘御用命の程奉願上候 御注文は凡て本町販賣所にて御引受け申候間同所へ御立寄り願上候

堅良時計特價提供

エルヂン十四金製 十七形裝地片蓋側 特價 三十四圓五十錢
エンパイヤ十四金側 十六形無地片蓋側 特價 十二圓二十錢
エンパイヤ十四金側

特賣期間二月十五日限 貴金屬品製作所
本町 糸岐商店 仁川 電話三七〇番 振替京城七一番

完全哺育料
母乳代用品
品質粗惡 成分不良 品模造 數種有之 危險に付 御註文の節は必ず 犬印 ご御指定被下度候
弘田博士外五博士實驗推薦 各醫科大學各專門學校御用
犬ぢるし印 滋養糖 DR. SOXHLET NAHRZUCKER
小兒ノ体質ヲ強健肥大ニシ 腸胃ヲ調整シ貧血虛弱ヲ回復ス
發賣元 東京神田 和光堂 本社東京本町四丁目一六八番 電話本局一四九九番
諸大家實驗報告=御申越次第進呈 各地藥店及食料品店取次販賣

浪板洋釘土工用具 石油揮發油諸油 大谷金庫建築金物 消防用具類 和洋ストーブ
京城本町一丁目 諸官衙御用達 佐野彥商店 電話一六三番 振替京城一二〇番
◎地方よりの御注文は代金引換を以て迅速に御發送可仕候

火三件ありたり

△午前十一時五十分滿洲洞百九十六番地金永源方温突煙筒より出火大事に至らずして即時消止む

[illegible]地金丙煉方温突煙筒より發火約半間破壞して消しめたり

支那態度一變

滿洲官憲の對日態度

昨年五月日支新條約成立後の滿蒙に對する支那官憲の態度は明治三十八年十二月滿洲善後協約調印當時に於けるが如き陰惡にあらざりしにもせよ事毎に日本の云爲にケチを附け遂に張家灣事件、遼西問題、間島問題等の事端を發生し一面日本の勢力に對し頑強なる對抗策を試みたるが昨冬以來不思議にも其の態度一變して稍々穩健なるに至れり

▼支那官憲の態度 斯く一變せるは一時的なるか恒久的なるかは今知るに由なく其の原因に付ても之を確かむべき具體的材料なしと雖も窃かに想像する所に據れば帝制の進行に伴ひ帝國政府の勸告せる通り上海に動亂生じ次で雲南に蔡鍔一派の率ゆる獨立軍起り四川、湖南、湖北、其他長江筋南岸の形勢益々不穩となり反帝制の氣勢漸く高まり來れるより歐洲戰亂猶ほ終局せざる今日此の不穩なる形勢に處するには如何にしても日本と意思の疏通を計り間接に其力を藉りて應急策を講ずるの外なしと認めたる北京政府の意圖が自然滿洲の支那官憲にも傳へられ此の場合努めて日本との間に事端を生ずるが如き事なきやう注意すべしとの內訓にても有りたるが爲にあらざるか將軍、巡按使初め道尹、知事等の態度も極めて平穩なり

▼日本派遣の特使 周自齊氏は此の十六日北京を發し京奉線にて奉天に出で其より安奉線にて朝鮮に入り斯くて日本に赴く筈なるが同特使は其の奉天に入るに際し袁總統より授けられたる對日策につき奉天將軍兼巡按使等と何等か密議する所あるべしとの風説さへ傳へらるゝ程なれば事變に伴ふ俄か拵らへの親日策は到底恒久的性質を帶びざるものにせよ此間帝國の滿洲に對する行動上多少の便宜を得る望なきにも非ざるべし此の機會に乘じ日支親善の上に一歩を進むるを得ば慶事之れに過ぐるものなきも轉變極りなき支那の態度については勿論今後も充分の注意を加ふる必要あり

▼四鄭間鐵道借款 昨冬漸く成立を告ぐるに至りたるも實は今次の南支動亂が北京政府の心を動かし日本との關係を良好ならしめんと欲したるに基くものと推察し得べき點あり而して其の親日策には別に戚井は今のところ他の想像に過ぎずと爲すの外なし何れにもせよ昨今における支那官憲の對日態度は不思議なる程に良好なり(大連)

滿洲警戒嚴也

宛然たる戒嚴令

滿洲は南支動亂の爲に未だ左したる變狀を呈せざるも革黨員の三々伍々潛入し來りて暗中飛躍を試み居るは事實とせざる可らず現に『救國急進會王安瀾宣言』と題して反帝制、共和維持の檄文を最近各方面に散布せるものあり殊に營口は上海と商取引關係を有する所にして此の方面より種々の煽動入り込み來れる虞ある爲め段奉天上將軍は警察廳に嚴命し特別防備隊を編成せしめ苟くも人衆の集ふ場所に對しては其の何たるを問はず毎夜の如く嚴査を行ひ猶ほ警察廳內に指揮部なるものを設け各署と連絡を保ちて非常警戒をなし其狀殆んど戒嚴令を布きたるが如き狀態なれば人心隨つて動搖し取止めもなき流言蜚語も行はれつゝあり我が關東省、管內及び滿鐵沿線附屬地內に變裝せる密偵を放ちて查覈に努めつゝあることは既報の如し(大連)

慶南檢穀成績

先月中に於ける慶南各地の米穀檢查所の檢查したる總數量は玄米十五萬六千二百叺大豆一萬八千九百七叺合計十七萬五千百七叺にして之れを前月の檢查數に比すれば玄米は四萬七千三百八十五叺の增大豆は二萬九千百五十一叺の減にして合計に於ては一萬八千二百三十四叺の增なりとす而して玄米に於て特等は前月に比し二千四百二十七叺を減じ上格は三百八十一叺を增し下格は四萬八千八十七叺の增加ありたり大豆は上格二千八百二十六叺を減じ下格も亦二萬六千三百二十五叺を減ぜり以上の如くにして玄米の檢查數に於て斯く增加を見たるは年末に際して例年出穀の時期なるが故なり然れども本年度に於て前月の狀況より見るときは今一層の增加を示すべき豫想なりしも如何せん十二月中旬後において米價少しく低落を示したるより一般に賣控を來したるを以て幾分は翌年度に持越したるもののあるに由るべし大豆は既に時期を經過したる今日なれば出穀の減少は止むを得ざる次第なり玄米の特等を出したるは釜山の分は同地に於て再精選を爲したるものにして其他鎭浦、河東の外は至つて少數なり上格米の減少したるは前月にありては檢査上に於ても古米の出穀關係と及び檢査の主旨を知悉せざる等の嫌なきに非ざる爲め幾分の酌量なきにあらざるも新米以來は最も檢査の嚴正を守らしめ著々改良の趣旨を顯はさしむるの關係上自然と下格米となりたるものあるによる然れば下格米中に於ては規定の夾雜物あるものに對しては其れ〳〵再調を爲さしめたるものにして其數は三千四百十八叺なりしが再調の上何れも格外なりしもの即ち輸移出禁止のもの一千三百二十六叺を出したりし斯の如き成績なるを以て今や一般改良の必要を認めたるもの只遺憾とする處は一般に籾米の乾燥不充分にして籾摺のときに於て多くの碎米を生ずるを甚だ不利益のものなれば農家に於て刈入れの際乾燥に注意し以て其改良の爲さしむる希望するものとす殊に異種米の混合多きは偏に農家に於て籾貿買の際注意を要し折角日本種の布給を爲すも籾米として在來種と混合するが如きは質に不利益の少なからざるものにして大に之れが弊を矯正するの必要あるものなりと某係員は語れり(釜山)

慶北記念桑園

慶北道に於ける養蠶事業は朝鮮全道に冠たるものにて方に數年ならずして朝鮮の特種養蠶地たるは瞭然たる事實也慶北道にては極力是が助長に斡旋しつゝあり昨年御大典を記念として慶北郡に桑樹を植しめ以て養蠶に資せしめんと計畫し是を春秋二回に分ち今春は達城、軍威、義城、慶州、永川、慶山、淸道、高靈、星州、漆谷、金泉、釜山、尙州の十三郡全部及び迎日の一部に對して每農家數七割に對する全戶數に每戶三十本の桑を植樹せしむる方針なるが今春は例年に比し非常なる暖氣の爲め各郡中には已に植桑に著手しつゝある場所さへあり他の郡部は今秋を期し以上と同一の方針にて植桑する筈なるが是が方法は喬木式植桑にして麥豆作の妨害なき樣適當の間隔を置き一擧兩得の途を執るにあり此の如くにして植桑總數六百萬本以上に達すべく而して右桑樹により每戶春蠶一枚(蟻量一匁)秋蠶半枚を飼育せしむれば一戶約十三圓の收益あり慶北飼育戶數二十萬戶に對し約二百六十萬圓の副產的致富の途を得る譯なりと

模範農村近況

東拓大邱出張所にては曩に管內に於て內地の如き純模範農村を組織せんと諸般の準備をなしつゝありしが達城郡壽城面泛魚洞が地形よりするも地味よりするも移民分布の狀態よりするも好適地なるより此地を選定する事となり已に定款まで起草するに至れり今春壽城面に於ける東拓小作人は二百餘移住民戶數二十三戶及び今春新移住五合計二十八戶約百十餘人に達し皆一致協力能く模範農村を組織せんとて努力しつゝある結果昨年十一月御大典時には模範農村創立記念として同面所在六千坪有餘の丘陵に記念植樹更に該所中央に大神宮、明治天皇、八幡宮の神殿を新築すべく設計をなし四月三日神武天皇祭迄に落成せしむる豫定なり而して模範農村當面の事業としては貯金組合、米穀改良、集約農事獎勵等にして又た一方水利組合を設け附近二百町步に亙る水利灌漑をなすべく計畫中なり近日安東東拓所長は更に本社と打合せの上遲くも本年中には具體的の模範村たらしむる基礎を固む可しと

支廳內で暴行

慶南統營大[illegible]爲に至り現に同日統營郡統營面紙島里漁業宋相晳(六二)河長源(三六)梁萬根(五二)梁相根(五二)方且柱(六三)羅鳳萬([illegible])[illegible]名を擁し[illegible]たる羅鳳植及び宋正敏に暴行を加ふる等亂暴を働き遂に執達吏事務の執行を妨害したる爲め何れも即時統營[illegible]

一月七日午後六時頃仁川新町十七番地保濟保太郎方に於て空樽二個代價一圓五十錢を竊取し寺町番洞道路上を逃走し右贓品を花町一丁目四二一七番地池田良助方に於て木炭三俵を竊取逃走せんとする處を同人妻女に發見せられ其意を遂げず其儘新町方[illegible]

又々十二日仁川花町二丁目四十二の一鍋田宮代子(二五)及び同人妹鈴子の兩人は猩紅熱に罹り避病院に收容せられたり

東拓收納米質

東拓大邱出張所管內に於ける昨年收納米は籾約二萬石にして是を一昨年に比し約一萬石の減收なるも米價は五割以上の騰貴なるを以て收益は却て增收の見込あり而して是が米質も年々改良調製されつゝある結果良好となり目下大邱出張所に調製しつゝあるものは改良籾五分八厘八步留まり在來種四分七厘及び在來糯米三分九厘留まりの割合なりと已に調製せしもののうち早神力一千二百八十七叺は東京へ、在來種八十七叺陸稻十二叺は神戶へ、穀良都五百五十叺は大阪住友へ、糯米九叺大豆二百三叺は大阪へ輸出せりと

咸南輕便鐵道

昨年春季より工事中なりし咸興炭礦株式會社經營の咸興西湖津間輕便鐵道は舊臘中旬竣工を告げ同二十日より假運轉を開始したるが成績極めて良好にして客車は一日三回の往復をなし西湖津發著の汽船と聯絡し居れば從來の如く發著時刻も不確實なる爲め一般旅客に對し甚しく便宜を與ふるに至れり乘車賃は特等五十四錢並等二十七錢にして旅客の携帶品は特等一名に付き六十斤並等一名に付き三十斤迄に制限を加へ居れり因みに軍人軍屬警察官及び小兒の乘車賃は一般人の半額なりと

淸津客年貿易

大正四年中淸津港普通貿易額は輸移出二十二萬三千四百三十圓輸移入二百五萬六千四百十圓計二百二十七萬九千八百四十圓にして之を大正三年中の貿易額輸移出十五萬八千九百八十九圓輸移入百四十七萬七千三百十四圓計百六十三萬三百三圓に比すれば輸移出に於て六萬四千四百四十一圓輸移入にて五十七萬九千百九十六圓合計に於て六十四萬九千五百三十七圓即ち約四割六の激增を見たり之れが原因は輸移入にありては淸會鐵道工事に伴ふ工事材料及び人口の增加に伴ふ日用品の需用增加に基因し輸移出にありては水產物其他產業發達に連れ各種生產品の增加に基因するものゝ如し

公州乙女大會

木浦公州支局の發起にてかゝる競技會を去月[illegible]に於て開かれたるが其役員の增加と共に指宿技師乙女會と命名し一の樂しき集團を見たるがその第一回競技大會が去る九日午後五時より公州寺に於て開き[illegible]たるが來會三十餘名ならぬ花や紅葉を散らし[illegible]の結果一等田中君、二等[illegible]君、三等上村君、四等岸田君、五等大南君、六等花山君、七等遠野君、八等[illegible]君、九等西岡君、十等吉田君[illegible]社より寄贈せる[illegible]は遂に[illegible]田中君一君に落ちたり[illegible]賞品は各商店より寄贈されたり近年になき[illegible]

商況

債券現物特電

東京 十二日出來値段(前日との比較)

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

十二日現在高 朝鮮米 [illegible] 內地米 [illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

十二日前場郵船株を初め米株京[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

十二月前場 [illegible]

下關期米特電

十二日前場 當限 中限 先限 [illegible]

朝鮮物產特電

[illegible]

取引閑散

十二日前場 七錢安を受け地場の買氣を喚び寄付の十五圓三十錢に[illegible]

雜報

金物類の昨今

[illegible]

金巾値上さ眼先

支那の內亂に[illegible]

十錢高の粗布二圓細布

[illegible]

眼先尙漸騰の趨勢

[illegible]

牛皮さ移出

[illegible]

大阪の六十二

[illegible]

三圓見當

[illegible]

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 電話長四〇二

明太魚閑散

[illegible]

二十六圓處へ

[illegible]

取引極めて閑散

[illegible]

京城正米

內地よりの白米注文は年末來引續き中絕の姿にて地場の買氣も[illegible]

南大門の廻米

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

十一日前場

前場の商戰

[illegible]

後場强硬

[illegible]

後場の商戰

[illegible]

十二日前場 九錢安の入電

[illegible]

引際買物勝

[illegible]

田中金兵衛

一定期賣買の注文に應ず 電話長一六二八番・一五二二番

市場零聞

東京さ大阪の鞘

[illegible]

鮮米の格落

[illegible]

吉 行賣仲買店

仁川海岸町三 電話長三九〇番 電略 京城

前場の商戰

[illegible]

前場保合ふ

[illegible]

中限の投げ物

順に新動機

[illegible]

目先尙小相場

殆んど釘付

[illegible]

當中の暴落

[illegible]

現物界

[illegible]

確實 迅速

仁川海岸町 取引所仲買人 [illegible] 電話六一三〇番

仁川米豆取引所

十二日の三月限

[illegible]

北濱だより

船株疲模樣

[illegible]

京阪電鐵株

[illegible]

小賣白米

[illegible]

豫報 京城測候所 十二日正午 [illegible]

演藝案內

壽座 本町 電話五七八 新派[illegible]

詩館 本町 電話一〇五〇 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 [illegible]

御成座 [illegible] 電話二一九一 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三番 [illegible]

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 [illegible]

有樂館 本町一丁目 電話二六六 [illegible]

軍用晒木綿 諸屑物 再製品原料
改良新古 メリヤスシャツ 同手拭 同ハンカチ 同袋物 足袋底張晒布 工業用古布切
上田淸太郎商店 大阪市[illegible] 電話南四四五九番

石炭 明治町一丁目 村山商行 電話一〇五一

本人の印章を偽造し之を使用せんとする者あり[illegible] 京城寬勳洞 閔丙壽

橫濱純粹培養 牛乳 ヨーグルト 太正搾乳醫院 東亞牧場

巡査看守受驗準備[illegible]

廣島縣人會開催 日時 十五日午後五時 會場 花月 會費 金貳圓五拾錢 申込所[illegible]

新酒賣出し 一升 金拾八錢 古酒 一金參拾錢 大邱北旭町 齋藤酒店

入院隨意 胃腸病院 京城南大門通三丁目 院主 佐々木杏造

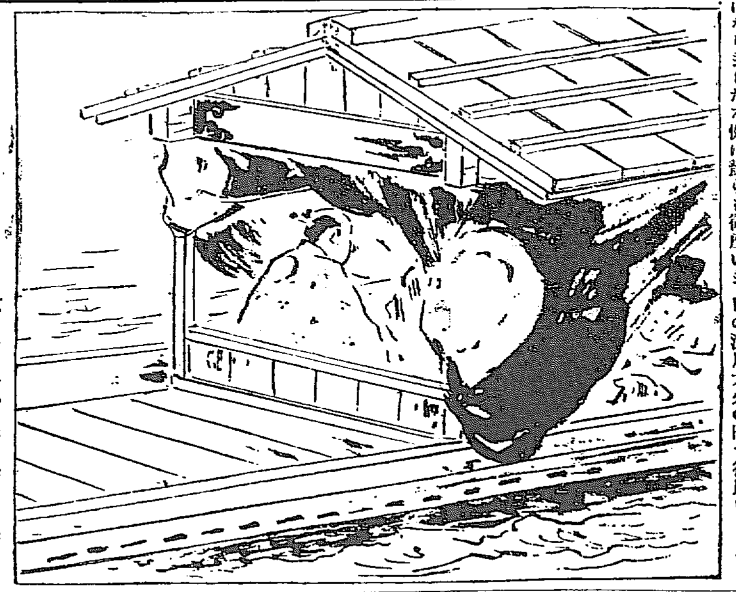
汽車　京城　南行　北行

越後大評定

第九十八席　早川貞水口演

近臣の籠絡

綱『ホ、ホー左様か、それは一つ覗いたいものぢや予が參れるか』圓『恐れながらエー御水門の邊より、御船に召されたることにて、三谷堀と云ふ所で御上りになり、其より土手を御通ひ遊ばしますれば難のないことで御座います』綱『ホ、ホー、吉原町と云ふと、『どう云ふ所ぢや』圓『まづ此吉原町と申しますは、三千人の美人が居りまして、一夜浩然の氣を養ふがために、皆此處へ通ひまするので、既に諸侯樣方の中に、御通ひになりました例は幾らも御座いますことで、不夜城など、申し、それはく賑かな處に御座います、加之に又その藝妓、幇間など、申す者が居りまして、總てその遊びます座中を取持ち、面白おかしく興を帮けるので御座います』綱『フウーム、隨分美女なども居るのぢやな』圓『それは此花魁と稱する者になりますと、天女の如く美しい者が居りますことで』綱『フーム、予は一つ其吉原を見たいと思ふが如何か』圓『恐れながら御案内仕ります』是から若殿三河守綱國公を御誘ひ申して、築地の御上屋敷水門の方より、屋根船一艘趣向いたし、これに比留間、正木、越の三人が附きまして、船を大川へ出し、漸次と隅田川を御出でになる。綱『コリヤ正木、其方は多く故事を辨へ居るやうであるが、此の遊女と云ふものは、何日頃から出來たものか』圓『左様で御座いまして、是は聖武帝の御宇、天平神龜の頃より起りましたもので萬葉に『里人の見る目はづかし佐夫流子に』とあります。此佐夫流子と云ふのが遊行女奴と云ふので御座いまして、此時代から既に遊女と云ふものが御座いました。此江戸の吉原は、相摸の國小田原の産にて庄司甚右衛門と云へる者が、始めて政府の命を被りまして開きましたもので、何でも慶長の頃かとぞんじます。それが只今の所へ引移りましたのは、明暦四年正月四日の江戸大火の時で御座いまして、水戸家の塵芥捨場を代地に下し置かれたやうな譯で、江戸町、京町、住吉町、伏見町と五箇町に相成つて居ります』綱『ホ、ホー左様か、なかなか其方は能く心得居る、隨分そこへは良き者も參るか』圓『イヤもうそれは御身分の御方が皆御遊びになつて浩然の氣を御養ひになる所に爲つて居ります、又その遊びます花魁と申しますが、由緒正しき娘等が、零落の末據ろなく勤め居るもあり、又中には親を助けるため身を賣り居る者なども御座いまして、然れば川柳に『孝行に賣られ、不孝に請出され』など、御座いまして、親の金を遣ふ、それが爲め花魁を根引きするなど、云ふは如何にも不孝のやうで御座いますが、其不孝な者が孝行者を救ふので左様な川柳も出來て居りますが、イヤそれは又人情で御座いまして、其場に臨みますとなか／＼親の異見も、家來の申上げる事も取上げぬ抔と云ふ者に、凝つて見ると面白い所で御座います、それで又世の中は持つたもので御座います』等と口から出任せに誘ひ出すやうな、御異見を申し上げるやうな、練り上げた辯説を以て言葉巧に綱國公へ御話し申し上げる



一月十四日九星　舊十二月十日庚戌　本命二黒坤納先負

▲二黒◦旅役の事有り新事見合東方は吉暗闘坤▲三碧◦許され損の事有り新事手控旅事は吉女子は一層用心の事▲四緑◦導かれ迷惑の事有り新事手控旅事は吉又散財を防ぐべし▲五黄◦煮えきらぬ事有り新事手控旅事は吉一切のかけ事を禁ず▲六白◦飛躍の日轉居入門金件名弘家作求職婚禮井戸掘等萬吉▲七赤◦撰選の日轉居旅行入門名弘求職金件嫁娶取締汽利用業等萬吉▲八白◦他の爲に盡て損さなる事有注意新事手控常の事は吉▲九紫◦大願成就の日轉居開業入學金談造船求職婚禮特許出願等吉▲一白◦損益過失を生ぜんとす新事手控事は吉小兒衛生誘惑注意

◎『實業之日本』新年號　平生の二倍大にして紙を始め體裁内容悉く面目を一新したり先づ商店の商店問答一等百圓の懸賞にて募集したる讀み物には大正國民の新目標に關し後藤尾崎其他十數名士の意見を始め增田社長の國力增進の新研究新渡戸博士のエチルリギー浮田博士の生活戦爭の新戰術は其發頭を飾り之に次で大戦爭大富り大ニコ〳〵一百人は最近の富り話介を紹し出世の早、名士廿五人名士活力存續の秘訣最新式の物理的鍛錬法共に萬人の参考たるべく小資本開業經營法女子供にも出來る農家發展の圖案發圖されたる地方の實業家實業圖經歷六十名士の好きな力士さ俳優當世金持番附其他研究と趣味とに富める新文字を以て充たされたり（東京京橋實業之日本社發行定價貳拾錢郵稅貳錢）

法人及商業登記公告

東亞煙草株式會社取締役藤田虎之助ハ大正四年拾貳月拾六日其ノ住所ヲ東京府豐多摩郡澁谷町大字青山北町七丁目貳番地ニ移轉シタリ
右大正五年壹月七日登記

京畿道加平郡外西面清平里九統拾戸李承方ハ大正四年拾貳月拾五日加平地方金融組合組合長ニ就任シタリ
右大正五年壹月七日登記

商號新設
商號東京ドラッグ商會滿鮮本部、營業ノ種類賣藥移入販賣、營業所京城府永樂町貳丁目六拾六番地、商號使用者ノ氏名住所同所原井惣吉

シンガーソーイングメシーンカムパニーハ大正五年壹月七日京城府長谷川町五拾八番地ノ支店ヲ京城府黄金町貳丁目九拾八番地ニ同朝鮮ニ於ケル代表者竹本壽八ハ同日同所ニ各移轉シタリ
右大正五年壹月拾日登記

京城地方法院

京城學校組合告示第一號
京城學校組合區域内ニ居住スル内地人兒童ニシテ明治四十二年（己酉）四月二日ヨリ同四十三年（庚戌）四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヲ以テ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學申込書ニ戸籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十九日限リ京城學校組合又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ
大正五年一月十日　京城府尹　金谷充

機械工學設計…通信通學規則要參錢
大阪製圖學館　大阪西區本田二番町
是れ極めて有望なる工業界に出世すべし

クスリはホシ
製劑四十余種各特約店にあり
東京京橋　星製藥株式會社

有望確實　職業　無資本
最も販路廣き新案特許家庭日用品各種の製造近所男女共自宅就業出來收益頗る多く製品は永年買受を契約し初め原料貸與す今回事業擴張の爲三百名限り大特典あり事業明細書はハガキにて申込次第無代進呈
京都市二條通大橋東入　中川商會貿易部　振替大阪一四五六七（電上二四七一）

一鶴
京城本町四丁目　本莊酒店

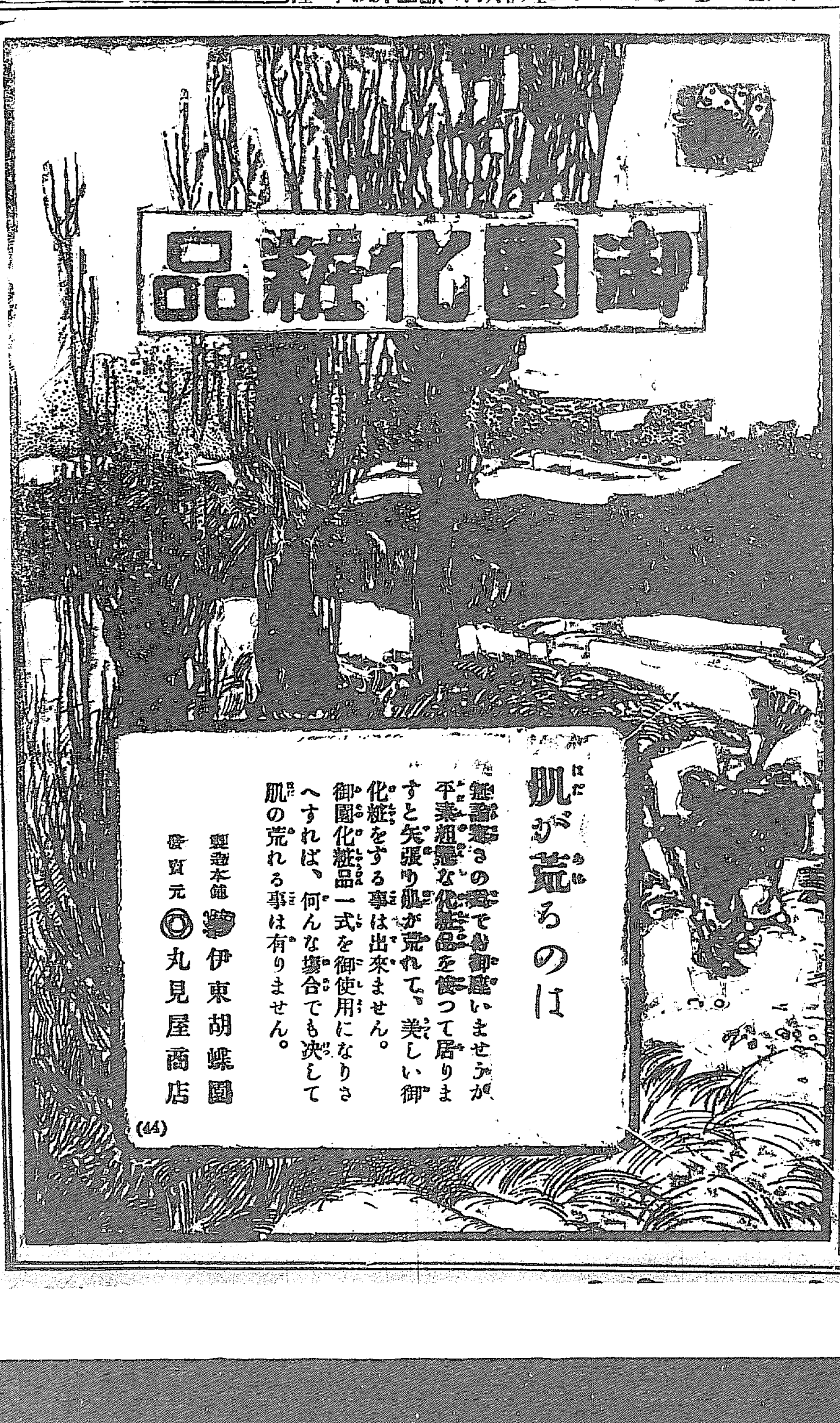
夜學生募集
支那語漢文英語（以上初歩より）
數學（算術代數幾何三角術等）
各專門學校入學受驗準備科の設あり
中等教員免許狀所有者及上海東亞同文書院商學士の教授擔任す
明治町小川旅館内電話二五五一
支那語英漢數教授所

◎中風（腦溢血）
腦溢血身體痲痺不隨言語障碍進る症腦充血及び腦神經衰弱等の疾患の自宅療法には元帝國醫科大學助手ピーエッチシー藥化學者川崎先生創製の効驗著しき專門藥あり同病困難者は京都市粟田御門三條南川崎自療法研究所宛申込次第無料送呈す

取引確實　期米
定期米賣買之委託無代進呈
前金注文は紹介を要せす
大阪市北區堂島濱通一丁目
大阪堂島米穀取引所仲買人　入江商店
電話長二一六七九五・三九六・四一
秘密嚴守

美人
○○密畫春夜見あかぬ珍品内容云わぬが花—三錢切手五枚送れ直送す
大阪市南區瓦屋町四番丁　大貫堂

數ある中をM印は特に撰ばれて畏き邊に御買上の光榮を得たる最優良品と御記臆を願ます
賣行盛に倍々發展
M印ゴムマリ
三田土ゴム製造合名會社製造
發賣元大阪唐物町四　飯田商店



りん病ばいどく豫防品
ルーデサック　小賣卸
京城南大門外停車場通ドラッグ商會滿鮮本部　電話二五六七番四六七

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高覧に供す
京城日報社　寫眞製版部

池田季雄
イケダ小兒病内科醫院
京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院）一二三四番（自宅）八八〇番

(明治三十九年九月一日第三種郵便物認可) (日刊 休刊無し中年)

京城日報

十三日朝刊 (第二千九百八十八號)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ケ月金八拾錢 [illegible]

廣告料 [illegible]

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 谷口政太 發行所 合資會社京城日報社 太平通一丁目 電話 [illegible]

第三[illegible]

▲十二日 [illegible] 一月限 一二二、五〇 一二三、四〇 二月限 一二三、五〇 一二四、八〇 三月限 一二四、五〇 一二四、六〇 四月限 一二五、五〇 一二五、六〇 [illegible]

下關期米 [illegible] 寄付十四圓五十錢より三十四錢へ [illegible] 圓十六錢 [illegible] 四圓九十六錢 ▲十二日後場 寄地不登三錢安及二十六錢に寄付延いて [illegible] 各地一齊氣崩れ 安値ノ七錢

仁川米豆取引所 ▲十二日前場 大阪前比十八錢後寄十六錢の入寄跡二節十錢三節〇九錢と安移りに當地出來[illegible]四十錢より二錢引 先十一圓五十一錢と六錢安に寄付[illegible]り二錢さ跳れたるが大阪の模て[illegible]節〇四錢 五節十四圓九十九錢と安移りに四十[illegible]押したるも買氣にて五十錢と揚げたる

[illegible]一千七百石買④二千二百石賣三百石 賣[illegible]五千百石賣二千五百石買⑦六百石賣五百石 買せ二千三百石賣四百石買

▲後場下げ澁る 大阪堅らざる入電なるも當地安を受けて十一圓五十一錢と寄付[illegible]

▲此處稍寄せ 大阪の暴落を受けたるも當地は存外に強く標準米より下げ遅つたるが大阪との鞘三圓五十錢内外に縮少するに至つた先づ正米より見て此邊安値ならんか扨も今後如何なる變動を來すべき

▲大豆 延安六圓 [illegible] 二十錢安 [illegible] 後場 中限⊖十 [illegible] 均値段四十三錢 [illegible] 十一錢五十錢二錢 [illegible] 四十八錢九錢五十錢 [illegible] 錢九錢八錢九錢 [illegible]

平均値段 [illegible]

◎脅迫して金を奪ふ 京畿道水原郡陽甘面蓼塘里生れ住所不定 此昌甫(三五)は前科二犯の曲者なるが外十餘戶を强奪し其の後直ちに捕はれ取調べの結果一月十二日京城地方法院にて懲役十年の判決を受けた

總督の諭告と吾人の覺悟

六、農界の前途

斯の如く我農産物は僅々五箇年間に於て、實に異數の進展發達を示せりと雖も、然も今後尚ほ改良増殖の餘地尠からざるものあるを知る可く其他作物、果樹、家畜等亦荀くも朝鮮の風土に宜しく地味に適せるものに在りては常に指導奬勵を怠らず、人民亦漸次勸勉力行の美風を馴致して比年其産額を增加し各種の副業之れに伴うて勃興の機運に向ひ民度大に擧りて生活の餘裕見る可きものあるに至れりとはいへ、其將來を遠觀せば是れ畢竟多年の頽勢を挽回して進歩の道程に上りたるに過ぎずして、未だ今日の現況を以て滿足す可きにあらず殊に現下の耕地面積は畓田を合し二百九十五萬九千百餘町歩にして併合當時の[illegible]三百四十六萬四千九百餘町歩に比すれば約五十萬町歩を增加し、開墾の績また大に擧れりと雖も、之れを半島の總面積二千百九十六萬四千九十町歩に較ぶれば尚ほ其一割三歩に過ぎず、其利用未だ完からざるもの尠きのみならず山麓又は干潟地を通せる一百萬町歩の未墾地は鶴首以て開拓の速ならむことを待てり、總督が農耕の餘地斯の如く廣濶にして農家の餘力亦頗る餘あり、若し此の餘力を擧げて農耕の改善擴張に盡し、尚は進むで副業の發展に勉めば、將來農業の隆興蓋し思ひ半に過ぐるものあらむといへるは洵に頂門の一針といふ可く、耕作に從事するもの拳々服膺して以て毎に奮勉努力を忘る可からざる也。現下の耕地面積中畓と田との比は一と一、七〇にして田の面積に對する畓の面積は甚だ寡少なり、而かも併合當時に於ては畓の面積中灌漑の設備を有するもの僅かに二割に止まり、爾餘は擧げて天水に依頼するの狀況なりしを以て、農作の豐凶は一に其年の降雨量並に其分布の如何に依りて決せられたり、茲に於て新政施行以來或は地方に補助金を支出して既設の堰堤、洑を修築し、或は大面積の集團地に水利組合を組織して大規模の灌漑設備を奬勵する等、水利灌漑の事業に對して各種の施設を爲し來れる結果、大正三年末に於ては之れ等に依りて完全に灌漑の目的を達し得るに至れる畓面積一萬八千七百餘町歩を算し、之れに個人の灌漑設備に係る蒙利面積三千七百餘町歩を加ふれば僅に二萬二千餘町歩の多きに達せる而已ならず、組合及び個人の計畫に依りて近く竣成す可き灌漑設備の蒙利面積四萬四千町歩に達せんとするの狀況に在り、而かも國利の振興と、民福の增進に夙夜仲々として寢食を安せざる總督は昨年度より治水調査の事業を開きて十三大河の流域を踏査せしめ、水利地點を定めて以て根本的治水の計畫を樹立すると共に水利、灌漑の完璧を期せんとす、思を致すことの深くして意を用ゆることの何ぞ厚きや、朝鮮農界の前途は實に多幸多福なりと謂つ可し。

支那の鐵道 (九)

利權競爭時代

日清戰役の頃より北滿事件までの間の時期は鐵道敷設權の爭奪時代なりき。此期間に於て外國人は支那に向つて頻りに運動を試み種々の貴重なる敷設權を獲得したり。白耳義シンヂケートは一八九七年に蘆溝橋から漢口までの敷設權を得、米國資本團は漢口廣東間の幹線の南段を敷設するの權を得、中英公司は上海南京線及び廣東九龍線を始めとして種々の敷設權を獲得し、露淸銀行は山東省の太原府より正定府までの敷設權を得、北京シンヂケートは河南及び山西に於ける鑛山採掘權と鐵道敷設權とを得、獨逸は山東省に於て敷設權を得、佛國は雲南及び廣西の二省に於ける權利を獲得せり。列國の利權競爭の盛なりし事以て想ふべし。

京漢鐵道

北支那及び滿洲方面の鐵道事情は割合に世人の知る所なるが、中部及び南部等に於けるものは其事情甚だ吾人の智識と遠ざかれるが故に、以下少しく力强く此方面の鐵道事情を紹介せむと欲す。京漢鐵道は北京より正定、鄭州、信陽を經て漢口に到る幹線及び其支線にして此鐵道敷設の歷史は極めて興味多く、鐵道の敷設其他の權利に關して列強に行はるゝ競爭と、相互の嫉視とを例示するものなり、他の各線と同じく此京漢鐵道の敷設計畫は資本の大部分を支那人之を供給すべしとの條件にて當初開始されたるものなるが、當時發起人すらも斯くの如き計畫の實行不能なるを熟知したり。而して米國資本團は此敷設權を獲得せんが爲めに種々苦心しつゝありしが、恰かも此時白耳義人は佛、露兩國の有形無形の後援を以て此鐵道計畫に割込み來り、他に條件に關する交渉の纏まれる間に首尾よく權利を獲得し、支那の欲する盤の條件にて工事を開始せんとする色を示したりしが、斯くの如き條件にて工事進行の不可能なるは明白なるが故に一方には外交的壓迫を支那に加へて敷設權獲得者に都合よき樣に條件を改訂せり。

昨年中の朝鐵

工事概況の營業成績

大正二年度より着手せる咸鏡線建設工事は大正四年に入りて漸く工を進め、其一部なる元山、文川間の十二哩五分は八月一日を以て運轉を開始したるより朝鮮鐵道營業線路は茲に延長一千哩に達し、又京釜本線の改良工事は其工程著しく進捗し大田、[illegible]灘津間及び新灘津、芙江間に於ては隧道全部の工事を了へ土工其他を通じて殆んど竣成したり而して日支旅客連絡の施設としては一月より日支旅客連絡の範圍を支那國有鐵道京漢、京張、津浦、並に滬寧の四鐵道に擴張したるをはじめ四月北京に於て開催の第三回日支旅客聯絡運輸會議に於て協定せられたる▲日支周遊券 及び巡遊券は十月一日より發賣の運びを見たり、又大正三年九月以來一週一回の運行に改められたる鮮滿直通急行列車は西伯利亞線に於ける急行列車の運行確實となれるを以て二月より其運行を變じて聯絡を便にし、尚ほ湖南、京元兩線の運輸時間を改正するの必要を認め八月より之れを實施せり、而して同年中に於て倉庫營業を開始したるものには元山、西氷庫、沙里院、論山、金堤、鎭南浦の六驛あり始政五年記念物産共進會を開催せらるゝや觀覽者及び出品物に對して各種の割引を行ひ、また金剛山探勝者の便を圖る爲め温井里に鐵道ホテルを新設し且つ十月三日を卜して京城景福宮内に朝鮮鐵道が千哩記念祝賀會を擧行したり又大正四年中に於ける輸送狀況を見るに當初は前年來不況の後を承け閑散の感を免れざりしが六月以降漸次良好に向ひ九、十兩月の如きは共進會の開催に依りて旅客人員を激增し▲空前の好況 を呈せり、而して共進會終了後は稍閑散を告げしも貨物運輸の如きは十一、十二月に於て益々好況を加へ、米、大豆、石炭、木材、綿布等は著しく其出荷を增進せり、之を要するに同年は前半期に於ては比較的閑散なりしも後半期に入りては其趨勢を一變し近年稀なる好況を呈するに至れりと

放浪漫記

大谷光瑞

江南の秋色は春色に比し著しく下位にあるは免れざる處に御座候一般に春色は遲日艇風其景頗る平野に適すれ共蕭殺の秋色は巉巖の奇峯を伴ふに非ざれば眞個の勝景を出し難し小生の夢寐の間も忘れ難きカシユミルの秋色もハラムツクの奇峰を除去せば其の美一半を減却す可く南滿千山の如き搏沙礜土の兒戲に類する岩峰なれども秋色の燦爛たるは實に一顧の値を有せり江南の地山なきに非ず然れども長江に臨める地方は一帶に丘陵の起伏せるのみにして一二の奇岩あれども長江の大觀に壓倒せられ殆んど見るに足らず唯一の廬山のみ五千尺の岩架を江畔に聳て今回小生は登臨せざるを以て秋色を知り難し太平府より下流に在りては山として見る可きものなく高阜の中稍大塊をなせるもの鐘山の南京城外に一千未滿の蟻蛭に等しきのみ故に李太白の唯見長江天際流の句あるを知る長江の秋色は芦花に在り萬頃の滔々水天一髮の間に無限の芦葦白絹の如く紅濁の水色と相映ずるを見る小生の來りし時は南滿既に堅氷三寸手足皸せしと雖も江南は蚊蚋猶活き水邊の楊柳未だ盡く黃落せず唯芦花滿開の春時の菜花の如しこの無數量の芦葦は決して無用のものにあらず即ち長江一帶の燃料として數百萬家に爨炊補温の用をなせり故に各村芦州を限定し漫りに亂入刈採を許さず蓋し芦葦(の類は皆永年の宿根を有し而かも年々新芽を生じ更に一點の肥料を要せず其の利滿洲の高粱に數倍せり長江の芦洲は蓋一個の富源なりとす本年は江南一帶雨多く低地は盡く浸入せり爲に稻田の損害せるもの頗る多し長江を離れ太湖の附近に至れば芦洲稍々減ずと雖も猶ほ秋色の一半を領せり無錫、蘇州間は江南有數の穀業地なるを以て桑隴稻田相半せり故に秋色の見るに足るもの甚だ稀なり唯所々の祠廟中に楓樹(リキダムバー)の紅葉松柏の蒼翠に映ずるを見るのみ就中蘇州西郊天平山下宋の名臣范文正公の舊居たる高義園は三百餘年を經たる老栢數百株蟠く紅黃の色を間はし頗る美觀をなせり特に背後の天平山は三百尺に過ぎざる丘阜なれども奇岩攢列し頗る秋色の美を增せり然れども是江南第一の紅葉なりとす然れども山は三百餘尺、園は五十餘町歩にして一小公園に過ぎず秋景を飽稱す可き地にあらず然れども其の他に至りては皆是れより劣れり一の稱賞するに足るものなし換言せば小生は江南の秋色は多少失望致し候春色の駘蕩たる江南優に我邦に頡頏するに足ると雖も秋色に至ては數十位の下層にして一も比較す可き地なし後日優遊の人士は江南の春色を問ふ可く秋色を訪ふ可からず若し之れを探らば得る所は唯紫蠏鱸魚の美なるのみ然れども太湖の風景に至りては支那有數の物たるを疑ふ可からず小生は前年湖心にある西洞庭山に遊びし事あり今回は風ありし爲めに遊舫は湖心に泛ぶ能はず故に無錫の惠山と蘇州の穹窿山の兩所より觀望致し候唐の白香山曾て蘇州の刺史たりしことあり彼杭州の西湖の如く飽稱せずと雖も太湖の風景は太守不問に付す可き地に非ず彼太湖に遊び最も親交ありし元微之(當時會稽の大守たり)に寄する詩あり曰く「煙渚雲帆處々通、飄然舟似入虛空、玉杯淺酌巡初匝、金管徐吹曲未終、黃夾纈林寒有葉、碧琉璃水淨無風、避旗飛鷺翩翻白、驚鼓跳魚潑剌紅、澗雪壓多松偃蹇、巖泉滴久石玲瓏、書爲故事留湖上、吟作新詩寄浙東、軍府威容從道盛、江山氣色定知同、報君一事君應羨、五宿澄波皓白中」と賞揚を異寫せり(未完)『十一月二十三日蘇州に於て』

謹詠百首の中

檜垣直右

千早ふるかみのをしへを基として
みちかきをすて長きをそとる

神祇
天地のかきりなかれとあまつ神
かひましつることはかはりし

君臣
神ながら興りの君をいたゝきて
きたなきこゝろわれもためやも

御大典の御儀に侍りて
かはかりも目出度みよにめくりあ
ひていひあらはさん言のはもなし

聖恩及枯骨
あらかねの土のしたなる屍にもめ
ぐみのつゆのかゝるおほ御代

聖壽萬歲を唱へ奉れる折に
天のしたまたなきしつる時のまに
とよめきにけりよろつよのこゑ

大嘗祭饗宴を賜はりたる折に
九重にさくらたちはな贅しつゝき
みか八千代をいはふけふかな

萬歲樂を拜觀して
かみながら食し召しつる國なれは
なみかせたゝすたみも安けれ

稲荷の社に詣でゝ
御代をいのるねがひは神もしらす
らんいなりの宮のあけのたまかき

此日頃降り續きける雨霽れければ
天のしたに行きかふ民草はは
れをいのらぬ人とてはなし

大和魂
動かなれは火にも水にも入りぬ可し
すめらみくにのますらたけをは

觀兵式
君のためくにのためにとものゝふ
かほこさりたゝすさまそ雄々しき

觀艦式
波風をたゝせしものといくさ舟よ
ねよそひするさまそ嬉しき

折にふれて
矢叫ひのはけしきさまに引き換へ
てねきみもやすし大御代のため

京日詩壇

趙子禩邸新年雅會席上

荷亭 呂圭亨
新年新會眼中新、漢陽門閭大有人、萬柳千花摠相待、東君若手使成春。

雲樵 柳赫魯
君家飯酒賀年新、滿座賢師十數人、未識詹翁獨老、可歎虛送好青春。

茂亭 鄭萬朝
每將柴蕙見更新、使似霜毛對麗人、多賀主翁老逾健、招邀舊友作新春。

見山 趙秉健
東山雅樂老逾新、絲竹情深及故人、知公猶厦心成病、如此寒天別有春。

初園 徐相勛
東閣開樽喜歲新、風流滿座盡詩人、華顏堪笑狂猶在、看到紀綱爾得春。

道堂 朴彝陽
宿雨初收殺日新、小車來合賀年人、席蘇滿酌梅花下、讀興梅花獨占春。

淡溪 徐相勉
共賀新年歲色新、滿歌劉院惱詩人、東閣風流今日會、青娥來閧荼梅春。

葵園 鄭丙朝
岡陵松柏載歌新、敬爲萱闈拜母人、此日向誰詩讚美、鍾花無佛獨占春。

心石 金容觀
世事年光共與新、歌娥曠笑苦吟人、東閣寒天和氣動、佳賓滿酒滿筵春。

晴峯 金性璂
今日梅花消息新、居稜酒暖賀天人、我龍又飽諧公德、誇道如吾獨得春。

琅田 趙重應
新民學自逐年新、並作昏衢秉燭人、正知天要元々意、節小寒餘己與春。

無佛 阿部充家
時調歌和鼓聲新、想得吳王宮裏人、播座諸公皆傷饌、筆花煥發各爭春。

年末大賣出し景品當籤番號廣告

昨年末擧行の當組合年末大賣出しは各位の御愛顧により空前の好結果を以て終了本日當地商業會議所樓上に於て抽籤の結果左の通りに當籤致候

大正五年一月十日

仁川官煙販賣組合

年末大賣出當籤番號(但し各組に共通)

▲壹等 (上等友仙縮緬壹反又は中帶壹本) 九〇五

▲貳等 (上等片側帶壹本) 三二五

▲參等 (羽織裏又は縮緬襦袢袖) 一〇六 一九五〇

▲四等 (置時計、洋傘、金庫、靴) 五四六 一七二六 一九三四

▲五等 (敷島拾袋) 一五 一七五 一八八 九二三 九六〇 一二五〇 一八三〇 二二一九

▲六等 (上等硯函、靴下(三足)卷莨箱) 六〇 四一六 七三五 九八九 一一三四 一三八一 一三九二 一四五一 一四六五 一七八〇 一八七二 二〇二四 二〇九七 二二〇七 二四二二

▲七等 (ダリヤ拾貳袋)

二一
九三八
二一九一
七〇二四

二一
九三九
八一一八
三六〇四

二一
〇四九一
六七一八
四四九二

二一
〇五九一
八五五九
五〇二〇

二一
一五九二
二八七三
九七七三

二一一
一六〇三
六九一三
五九八五

二一一
三七〇三
〇八四六
二六八二

二一一
三八一四
一〇七七
五九五二

二一一
三八二七
三四一八
九五〇三

二一一
三九二八
六〇六九
六九五〇

▲八等 (兎拾袋)

二二二二二一一一一一一一一一一
四三二一〇九八八七五五三二一〇九九七六五四三二
五五五六九七九四〇七一九七七七九〇九九九五三三九
一五四一五六三〇九六二四八四四二一六〇二二九五五二

二二二二二二一一一一一一一一一一
四三二一一〇九八七五五四二一〇〇九八七六四三二一
五六六七〇〇〇四三八一〇八七七〇〇〇三〇七五三〇二
七〇四一〇一二四〇〇四三〇九七〇四五七〇一〇六〇七

二二二二二二一一一一一一一一一一
四三二一一〇九八七五五四二一〇〇九八七六四三二一
五七六七〇〇〇五六九二〇九八八〇一三三一八六四二二
九一五三三七七一一八一七四〇五五二五九一一四〇三八

二二二二二二一一一一一一一一一一
四三二一一〇九八七六五四三一〇〇九八七六四三二一
六七七八〇一一五六〇二一〇九八一一三四三八六四二四
三二〇六五四〇四二一八五八二六六六八九四二六一五四

二二二二二二一一一一一一一一一一
四三二二一〇九八七六五四三二一〇九八七六四三二一
六七七一一三三五六一三三一〇〇二二四六三八六五二五
六三一六八三〇七九一〇二八九五〇〇四五七四七〇六三

二二二二二二一一一一一一一一一一
四三二二一〇九八七六五四三二一〇九八七六四三二一
七八九二三三四六七七三五二一一二二四六四九六六四五
二三〇二六六四〇八〇二九〇六〇二二六六五三九二四五

二二二二二二一一一一一一一一一一
四三二二一〇九八八六五四三二一〇九八七六四三二一
七八九四四六四七〇八三八二三四二三六六四九八八四五
四六七〇七五五三七〇六二六一一九三二七七六九八九六

二二二二二二一一一一一一一一一一
四四三二一〇九八八六五四三二一〇九八七六五四三一
八二一四五六五八一八四九五四五四三六七六三〇一五六
五三〇一二八四三二五一三五二六四九九六〇七八三〇九

二二二二二二一一一一一一一一一一
四四三二一〇九八八六五四三二一〇九八七六五四三一
九三四四五六五八一九四〇六四五五四七九七四一一五九
一七二二四九六九五五六四二九八六二四二〇七九五五二

二二二二二二一一一一一一一一一一
四四三二一〇九八八七五五三二一〇九八七六五四三一
九四五四五七七八一〇六〇七七六六五九九八六二三七九
六九一五六六〇八七五一五三二三五〇九五〇四二七一四

▲九等 (石鹼、石鹼入、手拭ナイフタオル、鏡等)

二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一
四三三二一一〇九九八八七七六六五四四三二二一一〇九九八八七六五五四四三二一一
二六〇六八四九七五八三七一四〇三八三六六三八二五七二六〇〇五八五九一三八六〇五
七四九一九八六七三七三五三〇六八一五三四二二一八八七七八六七九一一〇八〇〇五〇一

二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一
四三三二一一一九九八八七七六五四四三二二一一〇九九八八七六五五五四三二一一
三六一六九五〇八五八三八一四一三八三八九三八二五八三七二〇六九五〇二四九七一六
一八三六六七一〇五九五四四二八九三七三七六三三九八〇〇七八七〇三四〇〇〇四六一八

二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一
四二三三二一一九九八三七七六六五四四三三二一一〇〇九八八七六六五五四三二一一
三三一七〇五〇八五〇三九二六二五八四八〇四九二七〇五七二二六〇六〇三四九八二六一
二七四三三八九四九四六六八一〇一四一七一〇三四三三一五八一九一三九九九三六〇四一

二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一
四三三三二一一九九八八八七六六五四四三二二一一〇〇九八八七六六五五四三二一一
三八二七一六一九六九四〇三六二五八四九二四九三八〇六八三二七一六〇四六一八二六一
三五〇六一七二四〇六二〇八五一六七二一二六七〇四八三二四七七〇六七五八一七二六

二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一
四三三三二一一〇九九八八七六六五四四三三二一一〇〇九八八七六六五五四三三二一一
四九二八四七二〇六〇四〇五六二六八四九二五〇三九一六八五八五九三七三〇三二七一
八六三四三四三〇一四八一四七三〇九三五七一二九〇一五三七一八九二三八八〇〇八

二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一
四四三二二一一〇九九八八七六六五四四三二二一一〇〇九八八七六六五五四三三二一
五〇二八四七三二六〇五〇五七二七六四〇三五一四九一六八四三九二七二〇三七三
四二六九七五二五三一二二五五四〇三九四一四二二一七六八一八二二四四六七〇一一二四

二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一
四四三二二一一〇九九八八七六六五五四四三二二一一〇〇九八八七七六六五五四三三二一
七一二九四七三五六二六〇五八二七〇五〇四六一四九一六八五八五九三七二六八二三七三
七四八六六八五八五二六五八三七九三四九〇七四四九一九九五八六五八八〇六九八四六五

二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一
四四三二二一一〇九九八八七六六五五四四三二二一一〇九九八八七六六五五四三三二一
八一四九四七四六六二六一五九二八一四六〇四七一五八九三七三六八三五三七四
三五六九八九一〇七四八一九〇八二三六一一三三七三六一七九一七九九九七八一一五八〇

二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一
四四三三二一〇九九八八七六六五五四四三二二一一〇九八八七七六五五四三三二
九一五〇五八四七六三七一六九三九二六二四八二六〇四七二六八〇四八六九三七四八四
七六七二二〇二一九九六六七三七〇八四七六五九七三四五六〇八七一九一三三〇二三

二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一一
二四三三二一〇九九八八七七六六五五四四三三二一一〇九九八八七六五五四四三二一
一二五〇五八四九七四八二七〇三〇三七三五八二一六一五七二六〇〇四九五七〇三七五八四
二五八四一三五四一〇二一〇七六壹三〇三三五九八七二五五六〇四九八〇九六六九二九九

▲拾等 (縮緬ハンケチーフ壹枚、呼子笛) 前記壹等より九等までの當籤以外の番號

一景品引替期限 自大正五年一月十一日 至同年一月三十一日

一引替場所 仁川新町 仁川官煙販賣組合

◎露帝御名代
聖上東京驛臨幸

既報の如く露國皇帝陛下御名代ジョールジュ、ミハエロウヰッチ太公殿下にはタキシエフ將軍以下の随員を随へさせられ我接伴員寺内朝鮮總督安達公使等の御案内にて十二日午前九時五十五分東京停車場御著御入京あらせられたり是より先き 聖上陛下には午前九時陸軍様式大元帥の御盛裝に露國聖アンドレ勳章並に我大勳位菊花章頸飾を御佩用の上鷹司侍從長御陪乘申上げ波多野宮相戸田式部長官以下の供奉員を随へさせられ東京驛に行幸あらせられ同驛御車寄にて先著の伏見元帥宮、閑院大將宮殿下を始め各宮殿下大勳位國務大臣等百官の奉迎を受けさせられ便殿に御小憩の後古河副總裁の御前行にてプラットホームに玉歩を運ばせらる此の時恰も太公殿下の御召列車著御あり殿下には寺内總督の御案内にて直に 聖上陛下の御側近く進ませられ御握手を交させられ 聖上陛下より佛語にて恙なく御入京の御祝詞あり殿下より御出迎を深謝し奉り次いで 陛下にはタキシエフ將軍以下の随員に謁を賜ふ此の間殿下には寺内總督の御紹介にて伏見宮閑院宮殿下を始め各宮殿下山縣元帥大隈首相等に御握手あり斯くて 陛下には戸田式部長官添田總裁の御前行にて太公殿下と御並列にてプラットホームを進ませられ御通路の右側に整列せる近衛歩兵一個中隊を御親閲あらせられ終りて太公殿下には宮廷用御車寄にて再び 陛下と御握手を交はさせられ 陛下には用意の儀装馬車に閑院宮殿下御同乘随員並に寺内總督以下の接伴員と共に砲兵中隊の發せし皇禮砲二十一發の敬禮を受けさせられ御道筋に堵列の奉迎市民の萬歳聲裡に御機嫌麗はしく御旅館霞ケ關離宮に入らせられたり(東京特電)

◎雲南四川兩軍衝突

四川省叙州府の西南約二十哩の地に於て雲南軍と四川軍との衝突あり雲南軍の中には元四川革命軍を統率したる熊克武あり爰に解散されたる熊の部下は皆起つて應ぜんとするため四川省は混沌の状態を呈し居れり(北京特電)

◎黎の決心と段の危機

目下蟄居中なる黎元洪は雲南獨立に同情を寄せ今後の形勢如何に依りては最後の決心を爲さんとするもの如く又一時天津に遁れ直ちに召喚されたる段祺瑞は歸來益々危地に陥り故山に歸らんことを懇願するも許されず(北京特電)

◎土匪蜂起

廣東省惠州に土匪蜂起し官軍出動昨今討伐中なり(北京特電)

◎レ氏徴兵案に反對

倫敦のレモンド氏は下院に於て國民黨は今後徴兵案に反對せざるべしと發言せり(紐育電報)

◎太公殿下へ贈勳

天皇陛下には十二日御入京の露國太公殿下に對し特に大勳位菊花大綬章御贈進の御沙汰あり尚随員タキシエフ少將に對しては勳二等旭日重光章カホプスキー大佐には勳三等旭日重光章其他の随員に對しても其れ〳〵贈勳の恩命を下し給へり(東京特電)

◎樞密院會議(定例)

十二日は樞密院會議定日に付き吉川副議長以下各顧問官は午前九時より相前後して參集、政府側より一木内相、高橋法制局長官其他列席、吉川副議長開會を宣し 陛下親臨、左記諮詢案を附議せり

一、議院法中改正の件
二、會計檢査院法中改正の件
三、行政裁判所法中改正の件

右會議中政府側と顧問官側との間に二三質問應答あり結局原案を可決し十二時散會したるが第一案は貴衆兩院守衛長の判任官を奏任官に昇格する件、第二、第三案は會計檢査院長、行政裁判所長官は從來勅任官として親任待遇なりしを特に大審院長同様に昇格せしむるにあり(東京特電)

◎永江代議士逝去

政友會所屬代議士永江純一氏は一月初めより腎臓病に罹り郷里福岡縣瀦浦町にて靜養中なりしが十二日危篤の旨青山の同氏邸に電報ありたり(東京特電)

◎外山修造氏逝去

大阪貯蓄銀行頭取外山修造氏は豫て濱寺別邸にて靜養中の處十二日午前十時腦溢血にて逝去せり享年七十五歳(大阪特電)

雜報

◎鮮銀の浦鹽支店問題
松田銀行部買收計畫

朝鮮銀行が豫て浦鹽斯徳に支店を開設し露領朝鮮滿洲間の金融の便を計らんとするの計畫を有し居たりしは屢々報道したるところなるが右計畫を實行するの方法として鮮銀は嚢きに第十八銀行の經營せる浦鹽の松田銀行部を買收するの交渉を十八銀行との間に開始し其の交渉經過は極めて圓滑に運びしを以て十八銀行は本月二十日の株主總會に「浦鹽に於ける營業權讓渡の件」を附議すべく既に株主に通告する所あり一方鮮銀は前大連支店長中村光吉氏を浦鹽に派して松田銀行部の營業状態等を精細に調査せしめつゝあればされば十八銀行の總會に於て營業權を鮮銀に讓渡することを可決し而して鮮銀側の調査の結果營業權の讓受に差支なしと決定するに至らば此問題は無事解決を告げたるものにて鮮銀は直ちに浦鹽支店開設の認可を當局に申請し認可の指令に接し次第開店の準備に著手すべし因に愈々開店の曉支店長には中村光吉氏を任ずることに内定し居れりと

◎關東州の農事
現状と新施設

關東都督府に於いて州内農業の發達改良進歩に資せん爲め種々の施設を試みつゝあるが本年は更に一歩を進むべき筈にて差當り大連市内西公園側に設置したる現在の農事試驗場に對し其の規模を擴張することに決し市外沙河口水道水源地附近に約三十町歩の地を卜し此處に之を移轉すべく都督府五年度豫算に之が

▲經費二萬五千圓 餘計上しあり試驗場移轉は明年末迄に行ふ筈にて本年より工事其他諸般の施設に著手する都合なり目下計畫中の葡萄栽培、葡萄酒醸造試驗等も沙河口試驗場に於て行はるゝ事となるべし次に果樹栽培に就ては一層其保護奬勵をなすべきも病蟲害の豫防驅除に充分ならざる點あるを以て本年よりは其の豫防及び驅除の方法を講じ試驗場その範を示し

▲各農家に之れを 行はしめ同時に外國より輸入する果樹苗木に對し嚴重なる檢査を施し作物病蟲害取締と植物檢査と相待つて果樹栽培の成績を舉ぐることゝなるべく場合によりては農業警察の設置を見るべきかとも傳へらる植樹の奬勵並に保護に付ても種々に注意し居り現に一月の門松の如き州内松樹保護の目的より府令を發して其の廢止を強制せしめたる程なるが植樹保護の爲にも農業警察の設置は必要缺ぐべからずと認められ居れり(大連)

◎昨年仁川貿易(續)
仁川税關調査

▲輸移入貿易 輸移入貿易の減退を來せるは前述の如くにして其の主因は戰亂の影響に依ると雖も別箇の理由に依り增減を來せるもの少なからず主要數品に付き消長の跡を説明すれば左の如し

●食鹽● 輸移入額六十七萬三千餘擔三十萬二千餘圓にして前年に比し約二十二萬九千擔十一萬二千餘圓の增進なり本品は前年に於て持越品の多かりしと支那山東省暴風雨の爲鹽田の流失多く入荷不振なりし後を受け漸く在庫品の手薄を來せると需要の增進に依り入增を來せしに外ならず

●生金巾及び生シーチング● 輸移入額七百六十七萬五千餘方碼九十一萬餘圓にして前年に比し百三十七萬四千方碼四萬四千圓の增加となす本品は價格低落し需要增加したるを以て增加率は數量に於て著しく二割餘の增進となれり

●晒金巾及晒シーチング● 輸移入六百五十九萬一千餘方碼九十五萬餘圓にして前年に比し百六十八萬三千方碼二十二萬四千圓の增加を示せるも本品は幾分需要の增加を認め得べしと雖も多くは英國産にして上海經由品たるが故に銀相場の關係及び思惑買に依り入增を來せるものなり

●支那麻布● 輸移入四百八萬七千餘方碼九十三萬一千餘圓にして前年に比し七十七萬六千方碼二十六萬六千餘圓の減退なり前年より持越品多數なりしと輸入期に於て日支交渉未解決なりし爲輸入を手控へたるの外産地に於ける生産減少等に基き價格昂騰せる結果需要不振を來せるに依る

●毛織物● 輸移入額十二萬九千方碼六萬二千餘圓にして前年に比し十一萬一千餘方碼四萬四千餘圓の減退を示せり本品は多く歐米輸入品なるを以て戰亂の影響を被りたるに依る

●洋紙● 輸移入額二百萬六千餘斤二十一萬三千餘圓にして前年に比し四十七萬九千斤四萬四千圓の增加なり本品は逐年需要增進の傾向著しく戰亂の影響として内地産品の移入增加を誘致せり

●熟鐵● 輸移入額三百九十八萬五千餘斤三十三萬四千餘圓にして歐米品大部分を占めたるを以て戰亂の影響に依り價格昂騰し内地市場も品拂底の状況なる爲前年に比し二百九十二萬八千斤五萬八千餘圓の減少を來せり

●鐵道機關車● 輸移入八千九百餘圓にして前年に比し約六萬圓の減退を來せり之れ京元、湖南兩線全通の今日特別の新規需要なかりしに由る

●製造煙草● 輸移入四萬八千餘圓にして朝鮮に於ける煙草製造業の發達に依り前年に比し一萬一千餘圓の減少を來せり

●木材及板● 輸移入四十二萬二千餘圓にして前年に比し二十三萬餘圓の激減を來せり之れ京元線の竣工に依り枕木の移入減少したるを主因とす其の他建築界の不振亦其の一因たり

●セメント● 輸移入三千八十七萬二千餘斤二十二萬八千餘圓にして前年に比し八百七十六萬九千斤五萬七千餘圓を增加せり本年の建築界は依然不振の状態にありしと雖も仁川築港工事が本年に於て本品需要の作業多かりしを主因とす

●外國米● 輸移入四千四百餘圓にして前年の三十一萬六千餘圓に比し三十一萬千餘圓の激減を來せり前年來著しく下落を告げたる穀價も漸く端境期より漸次上騰の機運を示したれども本品需要期間に於ける穀價の下落主として之が因を爲すものとす

●支那粟● 輸移入額僅に二百三十石千八百餘圓に過ぎず前年の二萬九千餘石二十八萬千餘圓に比すれば大激減にて前品と同一理由に外ならず(完)

◎寄宿舍の訓練
佐々平壤中學校舍監談

京城中學平壤分校の生徒は九十七名で平壤と地方と半々位の割合に成つて居ります、私は規律の正しい模範的の學生を養成して見たいと考へて主任の西脇文學士とも協議をして着々實行に取掛りましたが其の結果として規律の正しいことは恐らく内地の各中學でも多く見ることの出來ぬ處であらうと思ひます、私が兵式體操を聯隊の渡邊中尉が最新式の體操を敎へて居りますが姿勢の整然たることは軍隊と少しも異りはない時々軍隊と共に分列式を行はせることもありますが旅團長も聯隊長も其一絲亂れぬ行動に對して美事だ、感心だと常に讃辭を賜はるのであります、そこで新兵の敎育には我校の生徒がいつも

▽手本に引出され 『中學生に負けぬ樣に骨を折れ』と云つて督勵を加へられると云ふ有樣で大に商業學校小學校の生徒も此の頃其の感化を受けて非常に規律が好くなつたと評判されるやうになつた。地方から來て居る生徒の爲めに第一第二と二つに分けて寄宿舍を設け私と、塚本敎諭とが引受けて世話をして居る、私の受持の第一寄宿舍には重に京城方面のもの二十名近く居りますが全く家族的に遣らせてあります生徒は十四歳から十六歳までの少年であります、朝は七時の起床時間が來ると一鈴の下に皆起床して各自受持の仕事を爲し又食事時間に成れば一鈴の下に皆階下の食堂に集まり一同敬禮の上箸を取つて至極靜肅の裡に食事を終へ登校時間に成れば相集うて登校するのであります。其代り遊戯の時間には誰憚るものもなく

▽思存分に遊び戯るゝのであるが喧嘩口論の如きは絶えて一度も無い若し多少の誤ちあれば年長者は諄々と諭し年少者は之に服して直ちに改める餘程六箇敷問題でなければ私共にまで持出すやうなことは滅多に無い、夜は九時半に自習を終り十時に消燈就寝するのであるが當番が定まつて居て九時半から十時までの間に於て、第一番に火鉢を一個處に集めて火を一器に取り之を火消壺に入れて階下に片付け次に室内の整理をして靜かに消燈就寝するので私共が別に見廻りをせなくてもよいやうになつて居る

△寄宿生の費用は 授業料二圓校友會費二十錢修學旅行費積立金三十錢賄料六圓舍費一圓三十錢、紙墨文具及び小使として約二圓と定めて父兄より毎月中旬に振替貯金で振替口座京城二九一八番に拂込ませ私の家内が帳簿を受持ち生徒には各自に一册宛の手帳を持たせ之に月日と金額と摘要を書き込ませ之を點檢して其必要な額だけを渡すので無用の金は一厘も生徒に持たせないことになつて居ります、假令ば筆一本を買ふ場合に一錢五厘と手帳に記入して來て若し五厘の小錢が無くて二錢を渡せば速刻其殘り五厘は持つて來て返すと云ふ習慣に成つて之が嚴重に行はれて居ります體育に力を用ゐ過ぎれば學課の進歩を妨げる傾きがあるから我分校は此點に於て大に注意を拂ひ

▽注入主義を避け て研究主義を取らしめて居りますが其効果は近來著しく顯れて來たやうに思はれる健康状態も至極良好で寄宿生中病人の如きは全く無いと云つて可い位であります、倘今年中には完全な寄宿舍の建設せられる豫定に爲つて居るから萬事により一層の好結果を來すことであらうと今から期待して居るのであります

果實取引の機關を起せ
朝鮮に於て今日適當の攻究問題
東拓副總裁 野田卯太郎氏談

野田副總裁を東拓樓上に訪ふ、『世間はどうかな』と例の卓の前に腰を下しながら『露帝が病氣だとか袁世凱が卒倒したとか云ふ問題が此頃新聞を賑して居るが、吾々朝鮮在住者に直接關係のある問題が鮮ないやうだ、何か問題を提供しやうぢやないか』と言ひながら開き直り、扨て

■特種産物 朝鮮の特殊産物の一たる果實の販路を攻究することは朝鮮在住人として今日適當の問題ではあるまいか、朝鮮特殊の産物とすれば即ち朝鮮の地到るところに産するものに相違ない、思ふに朝鮮産果實の販路は何處にあるか、殘念ながら未だ是と云ふ販路が開けて居らぬ

■取引機關 販路が無いと云ふよりは取引機關が不備であると云ふを適切とするであらう、第一俗に云ふ果實商、即ち問屋の如きものが京城にせめて一つ位は出來さうなものと思ふ、若し問屋のやうなものが不可なりとせば、彼の市場の如き所でも今少しく奬勵したらば果實の時價も世間に現はれるであらうと思ふ、此の取引機關を備へるといふ事は、當に購買者に於て必要なるのみならず果樹栽培者に於ても亦必要の次第である

■販路開拓 果樹栽培業者に利益を多く與へなければ生産の增加を望むことは困難である、今日果樹栽培の奬勵については其方途が立つて居るが販路を開拓して當業者に直接の利益を與ふるの方法が不備であると吾輩は思ふ、取引機關の不備といふ中には交通機關の運賃とか、又は遠方に送る關税の都合とか、爲替の關係とか云ふ問題も含まれて居ると思ふ、此等の點は取引の機關が備はれば自から改善されるであらう、吾人は朝鮮の特殊産物を進めたいと思ふが故に茲に一言意見を提起して世人の注意を惹きたいのである、當局者を始めとし園藝者に於ても大に此問題を攻究して可也と思ふ

齊家處世の要道 趣味修養の經典

第十二版 □蘇峰學人著 定價金十五錢□ 郵稅二錢
生活と處世
人生最も重要なる問題は何ぞや。云ふ迄もなく、常に處して其の命運と目的とを完全に遂ぐるにあり。即ち人の子たり、父たり、夫たり、將た又市民たり、國民たり、世界の民たる職分を盡すにあり。然らば即ち本書は、此の人生の第一義を講明するもの也。

第五版 □蘇峰學人著 定價金十五錢□ 郵稅二錢
處世小訓
人間の力は、宇宙の大、無極の永に比すれば實に憐むべきに過ぎず。されど一日の存在には一日の仕事あり、一人の生活には一人の職分あり。本書は敢て高遠行ひ難きの言を弄するものにあらず、唯吾人の世に處して爲さゞるべからざる所を力說したる處世實學の良鑑也。

第十三版 □蘇峰學人著 定價金十五錢□ 郵稅二錢
家庭小訓
子女教育、家政家事等の事は固より、大は家庭の感化を國家に及ぼす事より、小は花見、納涼、物品贈答の如きに至るまで、家庭に於ける百般の事項一として網羅せざるはなし。即ち本書は必讀の家庭讀本にして、之を當今の女大學、今川状と云ふも可也。

第九版 □蘇峰學人著 定價金十五錢□ 郵稅二錢
文學漫筆
題して文學漫筆と稱するも、單に文學のみの漫筆にあらず。或は教育に關する事あり。或は政治に及ぶものあり。而して或は人生の問題に關るゝものあり。然れども其の歸著する所は、我が國民の性情を陶冶せんと欲するに外ならず。

第廿一版 □蘇峰學人著 定價金二十錢□ 郵稅四錢
文學斷片
文學とは如何なるものぞ、是れ實に大なる問題也。本書は著者の文學的感想評論を收めたるものにして、文學社會の風潮、作物の品隲、思潮評論、自然人事に對する感想等、苟も文學に關するものを網羅せり。斷片と稱すれども、毎篇悉く是れ精金美玉たり。

第六版 □蘇峰學人著 定價金十五錢□ 郵稅二錢
漫興雜記
昔は詩人論うて曰く『詩多漫興無佳句』と。然れども人の胸臆に發するの天籟は、往々不用意の漫興中に於て見るべし。本書は實に著者の緊要なる思想と、人事自然の破綱とを瑰麗なる筆に託して記述せるもの、皆是れ精神的食糧の用に供すべきもの也。

◎京奉線の利益

支那國有鐵道中京漢京奉の兩鐵道は頗る利益あるものとして知られ……

◎討伐と飛行機

……路に依るとせば幾日遅滞の嫌ひあるを以て再三會議を重ねたる結果先づ飛行機を運はして雲南軍隊を威嚇……プロペラーの音高く雲南指して飛び去れりと

◎不義の天罰

……女は大正三年舊三月頃より夫の甥に當る前記李漢浩方に寄寓し居りしに同年舊十二月二十二日二十三日の兩……受けたり

萬七千八百六十五元にして總支出三百四十五萬一千百二十二元なれば純

元に達し昨年一月より十月迄の總收入は千八百九十六萬六千百五十二元

より十月迄其純益金又增加あり若し年末迄の分を加ふれば前二年に比し

とし、陸路安南より入らんとするも佛國公使の許可を得る能はず、又水

率ひしめ、四臺の飛行機に分乘して出發せしむる事となり、四機は既に

京の妻となりしが道京は約十年前無斷家出し行衛不明となりたるより姓

結果昨年九月二十日午後七時頃男兒を分娩したるより姓女は大に世間體

長里見有澤兩判事書記係河村檢事立會の下に懲役二年の判決を

●龍山の歩兵聯隊に勤務せる

朝鮮人の青年將校

愉快な軍隊生活＝兩親の喜悅
立派な帝國軍人＝郷黨の美望

龍山に駐剳してゐる金澤第九師團第三十五聯隊に唯一の朝鮮人士官がゐる第一中隊附歩兵少尉張璣衡(二六)氏で殆んど

■各師團に一兩名

死配置せられた四十名近くの朝鮮士官の一人なのだ歩兵第三十五聯隊の營所の門を入ると初年兵が物慣れない恰構して棍棒を上下したり銃の取扱ひを練習したりしてる其間をぬけ煉瓦建の裡に案内され刺を通ずると待つ程も無く堂々たる風姿の青年士官が現はれる歩兵少尉張璣衡氏である右の肩上から左の脇の下に斜に掛けた

■紅白の週番肩章

も通りよく明瞭な日本語で語る—生地は京畿道金浦で初め京城の武官學校に入り日本に行つて地方中央の幼年學校を卒えて士官學校に入り制規の課程を終り金澤第九師團に入隊し同時に駐剳軍の一員として昨年六月渡鮮する事になつたので卅五聯隊には無論自分一人だが同期士官學校卒業(廿七期)で廿一名、前期で十七名の卒業者があり總て各聯隊に配置入隊せしめられた軍隊生活の初めに

■一番困つたのは

軍隊語に慣れる事であつたが其れも今では何とも無くなつた食物は日本に行つた三日間許り口に合はなかつたので困つたが今では朝鮮食より日本食の方がいゝ、演習も初めは苦しいもの、一つだつたが今日では無論何とも無い兎に角總てが規則づくめの軍隊生活は慣れば其れでない方が却つて苦痛なのだが是れも軍隊に入らない前に軍隊生活と殆んど同樣な

■學校生活をして

來た爲めに愈々軍隊生活に入つてからも更に意とするに足らなかつた現在の生活に就ては何の不足と云つては無く寧ろ毎日の生活が愉快で堪らない＝と張少尉は誇らしげな眉を昂げカーキー色の軍服の肩を張るかと思ふと更に一轉して—郷里金浦は兩親と四人の兄弟が居り自分は次男なのだが

■昨年六月龍山に

來てから休暇を利用して二度訪問した兩親の喜悅は何に譬へるものも無い程で村の者も皆羨やましがつて自分の樣に軍人に成り度いと云ふ者が澤山出來た次の弟は今京城の商業學校に在學してるから自分とは方向も違ふが其下にも幼弟がゐて皆自分の樣に軍人に成り度がつてるから出來る樣になつたら軍隊生活に入れてやり度いと思ふ＝と眞面目な顏容で＝目下

■世界的大戰亂が

何時終結するとも判らず繼續してゐるが今後國家のために我々が必要と認められて來るに於ては微力と雖も大に皇國の爲に盡瘁する積りである＝と賴母敷い意氣を吐く、更に張少尉の附屬してゐる第一中隊長戶井大尉に面會して張少尉の生活を聞くに大尉は快活に語つて曰く＝張少尉は流石學校生活を經て來た丈けあつて青年將校として更に

■何等遜色もない

御覽の通り週番も普通將校通りにやつてゐる日本人の軍隊に入つた時の動機と精神は軍人として皇國に報じようと云ふ立派な者で軍隊生活も立派なものだ然し強ひて言はしむれば何となく遜色を感じてる樣に思はれないでもない無論此事に付ては豫て注意して居るが兎に角よく言ひ付けはするもの、恰も今日日本の將校が諸國あたりに觀戰武官として行つた場合には

■日露戰爭後では

あり大にもてもしようが戰爭前に獨逸邊りに行たとすれば何となく堂々と濶歩する事が出來ない樣な氣がしたらうと思ふ丁度張少尉の位置と態度は其樣ものだらうと思ふ然し又之を觀ずるに予が學校時代に琉球人と一緒だつた事があるが其動作などは更に若々と差違は無かつた是れなども最初は矢張り調子の違つた處があつたらうと思ふけど今では何とも無くなつたので唯時日の問題なのである

■朝鮮軍人にして

も同樣だらうと思はれる北海道旭川の師團にはアイヌの特務曹長か何かがゐるが更に遜色なく勤務してると云ふ事だ朝鮮將校の成績奈何と云つても予の知つてゐる將校の如き學校時代に於て非常によく出來て日本人を遥に下位に置いた樣なのがゐたが頭腦は決して下位にあるとは斷言されない

■然し軍人の本務

が日常生活の奈何のみではないのは今更言ふ迄もない事で其最後の精神の奈何と云ふ問題に會すれば唯實戰をやつて見るより外に試み樣が無いと云ふより外言ひ樣が無い＝＝と朝日の煙を吹上げた

●面白い春場所の

勝負豫想
本社の懸賞と驚く可き投書

日本全國何千萬といふ好角家が一齊に力瘤を入れて持ち構へてゐる東京大角力は今年は角力には附物の苦情沙汰もなく

▲十四日の初日 は今の所故障なく出せさうである、御大太刀山は此の場所は都合があつて中日頃まで出られさうも無い樣だが此の外に大きいところでは休場するものもないらしい、足を痛めて不具になりかけてゐる小野ケ崎、引退に決まつてる綾浪の兩人は

▲番附に名を止 めた丈で出場しないが質の所此の連中休場は左程人氣に關はる事もない、今年は東西の大入替があると面白い取組が見られると思つてゐたがその事がなくて聊か拍手拔がした氣味がないでもないが然し玉手、玉椿、石山、柏戶などが西に戻つて面白い

▲策戰を廻らす 事は明かだ吾社が今場所の好取組に對して勝負の懸賞豫想を募集したところ驚くべし發表して僅かに一夜を經たばかりの十二日の朝には五百枚近くの答

▲注意のいかに 甚大なるか

葉書が舞ひ込んで來た角力に對する人氣が思はれて面白い、その好取組として出題したものを擧げると

大錦對鳳、綾川對朝潮、栃木山對大蛇潟、釋迦ケ嶽對金の花、宇都宮對黑瀨川、對馬洋對玉手山、西の海對伊勢濱、九州山對浦の濱、兩國對大鳴門、源氏山對千年川

▲此の内大錦に 鳳は一般好角家の記憶に殘つてる通り前場所四日目に於て寄倒されて鳳負けて角力だ、鳳は橫綱になつて初めての場所なり前日栃木山に土を嘗まされて固くなつてる所を立向つて敗れたが今度大錦が鳳の前場所と同く

▲大關としての 初顏合せであり鳳の今年の元氣は素晴しいもので太刀山に及ぶ位だから面白いだらうと言はれてる位である▲西の海に伊勢の濱は前場所惜しいところを伊勢の寄切つてる大關角力、前場所の不成績に鑑みて

▲發奮してゐる 伊勢の元氣は侮ども難くいづれも豫想がつき兼ねる兩國に大鳴門は兩國の敗になつてゐる、然し奇策縱橫の兩國の事だから何をするか判らず、大鳴門の堅實と相俟て面白い取組だ、此の外前場所には休場又は

▲味方同志で顏の 合はなかつた者ばかりだいづれを見ても好取組就中朝潮と綾川の一番は例の襲名問題以來表面は兎に角妙に纏痴奇林になつてる間柄とて協會の手加減でどんな事をするかも知れぬが營業上ならば大抵の手段を擇ばない

▲昨今の事とて 萬人の注目の的になつてる此の一番は兩力士の休場さへならぬ限り顏が合ふだらう若しさうなれば面白い勝負が見れることだらう

●飛行船雄飛號の

大飛行
行程一百二十里、

航空船雄飛號は愈々來る十五日午後十一時所澤出發大阪に向ひ行程四百八十基米突(百二十里)の往復大飛行を決行する旨十二日所澤航空隊より發表されたり、尚ほ搭乘者は增田少佐、長野中尉、高山、讃勝、高見、西、鈴木の三曹長にして速力は逆風追風を平均して一時間三十基米突(七里)高度は五百乃至一千米突とし艙内に無線電信を裝設し時々所澤本隊と通信を爲す筈なりと(東京特電)

●勞動宿泊所に下附金

京城に於ける『ソール倶樂部』會長ダビットソン氏は御大典祝賀記念として慈善事業のため大金を提供し其分配方を總督府に申出しにより其内金一百五十圓を宇佐美總督府内務部長官より勞働泊宿所に事業奬勵資金として下附せられたりと

●仁川保護者に注意

仁川學校組合區域内に居住する者にして明治四十二年四月二日より同四十三年四月一日に至る間に於て出生したる兒童は本年四月一日就學の始期に達すべきに付該兒童の保護者は來る二月十五日迄に入學申込書に戶籍謄本又は抄本を添へ當學校組合に提出せらるべく若し期日經過後申出の向に對しては入學を拒絶することあるべしとのことなり尚申込書は府廳に請求せば交附せらるゝ由

●土工慘殺さる 全北井邑郡淨土面三洞里鐵道工夫監澤彌八方に去る六日午前二時頃強盜侵入し同居人全北井邑郡淨土面三洞里生れの路工夫徐北述(三五)を慘殺したる事件あり同日彌八は年始廻禮の爲め泰仁面方面に外出し北述は留守居を賴まれ熟睡中同家内勝手口より侵入し在合せたる鐵道工夫用の大鐵槌を以て同人の眉間を強打し即死せしめたる上金品を強奪逃走したるものなり目下其筋にて犯人嚴探中

●持兇器強盜判決 江原道原州郡加里波面城南里生れ成炳澤(二〇)は外數名と共謀し各自棍棒銃鮮刀等を携へ大正三年十月十八日夜慶北安東郡豐南面柳道評方に闖入し同人を縛し兇器を突付けて脅迫し現金二十三圓を強奪したるを手始めに同年十一月二十九日迄に外二箇所にて同樣手段にて強盜を働き現金百六十圓及び衣類雜品十數點を強奪したる爲め一月十二日京城地方法院にて懲役十年の判決を受けたり

●鐵道局員の兎狩 鐵道局營業課三木課長以下は十六日の日曜日を卜し新嘉附近に於て盛んなる兎狩を催す筈にて同日午前二時龍山發列車にて出發の豫定なり猶當日は同局内の狩獵家天狗連も參加の筈なれば定めし盛んなるべし

●仁川奈良縣人會 仁川在住の奈良縣人同志の組織にかゝる大和會は來る十四日仁川宮町三幅に於て新年宴會を開催する由

懸賣と懸買
片や帳場の問題 片や臺所の問題

「二」細く、長く

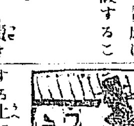
百聞は一見に如かずむやみない百聞は實驗に如かずと『懸賣と懸買』と云ふ標題で一寸出て置いてから十二日早朝市内の重なる商店に就て意見を云つた所が少し話しが大きいが話しを聞いて見た處が

▲吳服屋 妙なことを書き初めましたね、併し却々面白い實際問題ですよ、實業會が去年の暮れに懸賣代金の回收を遣るとか云つて賛成はしたもの、多年の習慣を打破することは困難でもあるし 私共の商賣なぞは根が婦人相手で來て居るから月末拂など 喧しく云つた日にやどうも〳〵續きやしませんよ、まづ其月に買つて其月に拂込んで頂けばよいのでキチンとした商品代を何程か宛月賦にでもして頂くことは有り難い樣で質は甚だ有難くないのです、太く短いよりも細く長いが商賣人の喜ぶ所なんですー

▲雜貨屋 雜貨屋、八百屋と一日に云はれますけど、雜貨屋かて種々ありまんが＝私し所見たいに問屋から直接仕入れて來て賣つて居るのと、酒客さんの注文次第で米、炭は炭と一々其々の店屋から取つて來て賣つてるのと二種類ありまさ＝酒太りのした御亭主君雜貨屋の定義論から始て扨て本論に入る 商賣は競爭やよつてにうかくして居たら他の店の人に大切な得意を 取られてしまいまんがそやさかい結局お得意樣には恐い者でも觸る樣にしてひたすら御機嫌を損せん樣に力めて居ます其御得意やかて百軒や二百軒ぢやないが、又種々雜多の御得意樣があつてほんまに正直なとて商賣ちゆものお煩さいもんでつせ、月々の勘定にしても通帳通り拂つて呉れる家もあるけど『雜貨屋さん今日はこれだけ』と云はれて見れやハイ〳〵毎度おーきにで引下らにやなりまへん又一方から云ふたら帳面に少しでも

證據で安心して居られるんやから損六樣でも結局は得なんや、それはつまり云ふたら實業會の月末決濟勵行なんかそう〳〵行まつかいな、

▲酒屋 冗談云つちや困りますせ酒屋の番頭に『御意見』なんぞあつて耐るものですかい、閑話休題實業會の懸賣代金の月末決濟至極賛成です、私等の樣に陽氣な方に關係した商賣でおまけに醉拂相手──御客樣を醉拂と申しては一寸失禮ですが──のことだから毎日の拂が其月内で濟むと思つたら大間違い大抵の店(造酒屋は別だが)では商賣始めの資本金は借越になつて其次からの仕入は延取引をすると云ふことになる 元來御得意樣の會計役は奧さんで其の奧さんはお酒の拂なんかは 挨溜にでも捨てる樣に思はれて居るものだから、一番虐待を蒙るのは酒屋の拂です、この所を實業會が出來て一商人一同の申合せですからお拂は必ず月末に御願申します』と云はれるのおやがそこはやつぱり商人の手心です私の所はどうするかつてそんな事は商賣の秘密ですよハ、、、



▲來る十八日、赤穗義士討入の夜を期して、京城中學の健兒が北漢山に登攀する事は士氣を鼓舞する上に最も好いことである▲此の夜薩摩に於ては古くから徹宵義士傳を讀み明す風習があつて各城下及び外城で方限と稱して一區域内に山陽の詩にある健兒社なるものが在つて此處は所謂兵兒二才の切磋琢磨の場となつて居る▲當夜は暖を取る爲めに栗と黑砂糖と葛粉を混せた『栗ぜんざい』なるものを啜りつゝ義士傳を讀むのであるが鹿兒島健兒の士氣は實に此の裡に鼓舞されるのである▲次に又薩州では曾我兄弟討入の當夜も各自に古傘を持ち寄つて之れを焚して當時松明の故事を偲び曾我物語を讀むが毎年の恒例になつて居る就中最も面白いのは關ケ原大合戰に於ける島津維新公敗軍の當日である▲此日は各自健兒の社に集合して關ケ原軍記を讀み愈よ島津軍敗北の條に至ると健兒は何れもチヱストを叫んで其の座を蹶起し直ちに家に歸つて甲冑を著け隊伍堂々六里の途を疾驅して伊集院なる維新公の廟に詣づるのである▲此の事は主君の急を聞いて援軍に馳せ參ずる昔を忘れぬ深い意味が含まれて居る此三百年來薩南健兒が復讐心を養成した處のものが後年維新の當時に於ける志士の奮起となつた譯にて其根原は實に茲に胚胎するといふてよろしい▲這回京城中學校の壯擧を聞いて懷舊の情に堪へず或る古老の談るがまに〳〵

京日案內

●普通 一回前金三十錢(無割引) 匿名一回毎に金五錢增

▲タイプライター確實(保險附)修繕 ツヅキ自轉車商會 京城南大門通三 電話二三一〇番 240

●配達人至急募集す 身元確實保證人要す本人來談 身體強健 京城明治町二 ▲町田新聞部 242

○自働自轉車 格安品あり ツヅキ自轉車商會 京城南大門通三 電話二三一〇番 236

●外務員入用 在留二ケ年以上身元確實市内に保證人ある者 京城太平通二△多田不動產信託所 230

●店員入用 算筆を能する廿五歲前後の人履歷書携帶來談あれ ○京城南大門驛前△松原運送店 236

●番外 一回前金六十錢(無割引) 匿名一回毎に金五錢增

徵兵 適齡者に例年の通り受檢手續御書無代進呈仕候 希望者は可成午後來店せらるべし 京城櫻井町 大正舘前 藥種賣藥 岡崎藥房 238

新築移轉 今般肩書の商所に新築移轉業務擴張一層大勉強織々御注文の程願上候 京城長谷川町 洋服商 電話九七二番 祥興號 237

●店員入用 印刷に經驗ある外務係二名簿記係一名入用希望者直接來談あれ但し市内に確實保證人を要す 十六七八歲の見習二名 ○永樂町二△播本商店 234

恩給 年金類低利長期立換短期不及便法あり其他擔保信用貸仕候 ○京城南大門外 御成町 山口屋 224

●はねつき(うちみくじき)等一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 241

職人夫婦者入用 一○表裝師至急入用表裝部一任致度し但京龍に保證人有者 龍山元町一田中古物店 電話四一六番 220

質・堀佐營業所 京城黃金町二丁目(永樂町停留所北入) 電話六三九番 232

解雇廣告 元販賣主任宍戶文一郎右之者一月一日限り當會社と關係を斷申候間此段廣告候也 本町二丁目 シンガーミシン會社

鑛山賣買の速かなる事は京城府安國洞一五三番地(電話二二六四)申厚永の鑛山賣買仲介所に依賴するに限る

賣藥 藥種 大邱大和町 健胃散本舖 山田藥局 藥劑師 山田重雄 電話四五七番

花王 月世界 二十本入三錢 中卷四十本五錢 大邱 大石商會

醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絶品キハク醬油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の實證

最上 醬油 ─〈キハク印〉─

下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

千生瓢（95）

須藤南翠作　筒井年峰畫

七本槍（九）

間を得て身を全ふした、佐久間源六郎實政は、敵中深く馬を馳せて、幸ひにして兄久右衛門安次の無事に殘卒を纏めるに邂逅うた。實政は天に歎び、地に喜んで、直々と馬を乘り前め

『兄ぢや、無事おざつたか』

『おゝ源六、其方も無難か』

互ひに悅び交す間もなく、羽柴方の雜兵の、ばら〳〵と競ひかゝるに兄弟互ひに馬馳せ廻し、追ひ來る敵を逐つ拂ひ、敵なき林に分け入つた。

『此處に參る敵はおざらぬ。先づ緩かせられい』

實政は馬を下つて、それを樹林に繫ぎ置き、兄とゝもに切株に腰を下した。

安次は大息吐いで、

『運は末ぢやよ。笑止ながら匠作が雄名も、今日を限りと相成つたわ』

と、潸然と落淚した。

『兄上、我等も左樣存じ申す。匠作には、玄蕃殿の勝に乘じて、歸陣せぬのを口惜しく思はれうが、斯う成り行くのは運おざる。玄蕃殿とて人は鬼神のやうに申せど、智略もあり深謀もある、決して無謀の豪傑おざらぬ。運おざる。運おざる』

『さればおや』と、安次は憧憬的に四邊を看廻して、

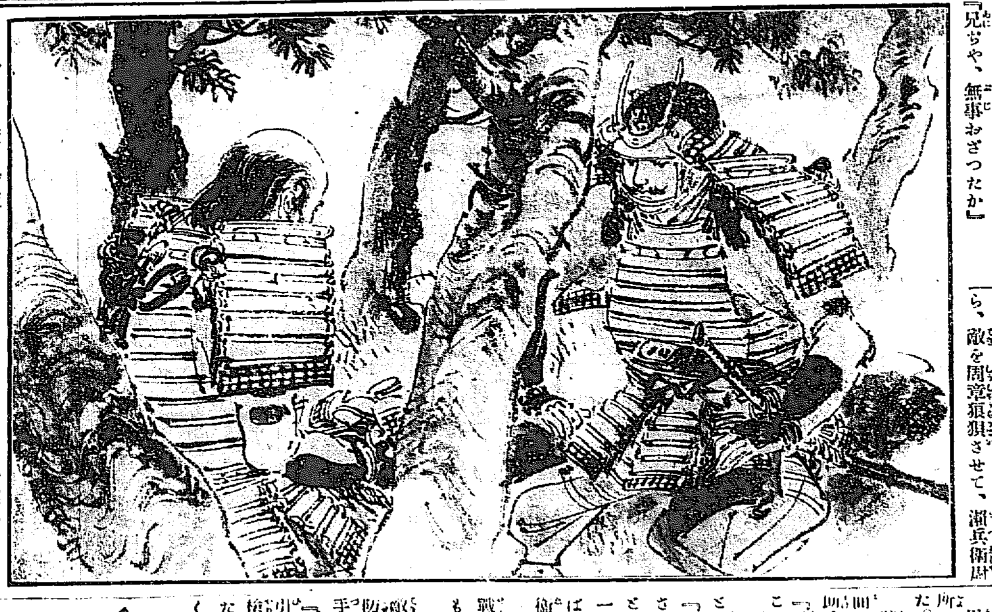
『今度の合戰、神部兵右衛門と一手になつて、中川が砦に火をかけてから、敵を周章狼狽させて、瀬兵衛尉を討ち取るまでは、味方全く天運に叶つて、機も十分、利も十分でおざつたよ』

『爾ぢやよ』と、實政も拳を固めて腿を打つた。

『筑前が出馬、あゝ神速であらうと知つたら、大岩を落すと共に、志津ケ嶽を踏み破り、一齊に押進んで、木本あたりに邀へ擊たうものならば……あゝ兄ぢや』

『運ぢやよ。先手の諸將の同意せざつたも運ぢや。匠作の强て留められたも運ぢや、玄蕃殿が凱陣せざつたも亦運ぢやよ、運は匠作を去つて、筑前に赴いたわ。言ふな源六』

『兄ぢやも言はしやるな。おやが兄ぢや、あの氣象の匠作が、無念の生害、見惡んでお見やるか』



實政が面上には、颯と紅が流れて明瞭に決意の色が仄めいた。

『見まじいもの、の』

安次は黯然として目を瞑つた。

『此處ぢやよ、觜兄ぢや、匠作の生害を、一時なりと、半時なりと、遲延させる爲には、兄弟一緒に討死して、漸に敵を勞らした上、追ひ擊の鋒先を弛べるより外はない。兄ぢや同意か』

『おゝ乃公も今其を考へたのおや』

安次は目を開いて莞爾と笑つた。

『おゝ割符を合した兄弟一致』

『さあ、來い源六』

『言ふにや及ぶ』

馬の綱解きうち跨つて、敵ある場所へ驅け出し、馬を騈べて待ち受けた。

時に敵を拂つて返して來た、佐久間が乳人の夫、神部兵左衛門、水野助兵衛、斯くと見て馳せ近き、

『殊勝に見え給ふよ、武士道は斯くこそありたうおざる』

水野が稱贊する後から、神部近々と馬を寄せて、

『但し若き殿の、運は今日に限り申さぬ。柴田殿の御運は、如何にも末と見えておざる。されど、御一族御一門皆悉く斷絕に及ばん事は、何ばう口惜しうおざりませう。騎助兵衛』

爰は我々受取つておざる。殿達は戰場を落ちて、玄蕃允殿の成行きをも御覽あらせられい』

兩人が諫めるうちに、また大勢の敵が襲ひ來た。兵左衛門は助兵衛に防ぎ矢射させて、兩人の鎧の袖を無手と執り、

『退かせられい、〳〵』と、無理に引き立てゝ、敵なき方に馬を向け、槍の柄を以てしたゝかに其尻を擲いた。駒は一聲高く嘶いて、飛ぶが如くに奔馳した。

新刊紹介

▲朝鮮寫眞畫報（新年號）昨年五月初號發刊以來逐次改良發展を試みつゝある本誌は新年の新春を愈よ奏裝して現れたり、卷頭先づ江西の古墳に發掘されたる數百年前の壁畫の館に次いで御大典參列の李埈公殿下新春の京城、白岳山の現狩等朝鮮を主題とせる趣味多き寫眞頗る多し（一冊廿錢京城大和町一丁目朝鮮寫眞通信社發行）

▲寫眞タイムス（新年號第八十九號）卷頭に初春の朝と題する美しき二色刷寫眞あり脇門讃父巧妙なる寫眞印刷術を應用したるもの時事寫眞には去年の御大典記念大演習の二頁つゞき始め觀艦式、東京市奉祝會その他歲暮所見等例に依り豐富滿載（一部定價廿五錢東京々橋新肴町明治製版所）

▲海外の日本（新年號臨時號）定價金七錢東京市神田區萬世橋寫之研究社

▲飛行界（四の二）ナイルス氏の宙返飛行を中心として大に賑へり（特價金廿五錢東京々橋區日吉町八日本飛行研究會）

▲衛生新報（一七三）定價金五錢五厘東京市日本橋區箔屋町一四其社

▲鑛業新報（二七四）定價金十五錢東京市日本橋區箔屋町一四其社

▲農業雜誌（一一六八）定價五錢東京市麻布區本村町二二一學農社

▲花筏（第一集）釜山には可成りに澤山の俳人が集つてる樣度が企てられては消えて行つた俳句雜誌の更に新しい企に依り釜山に於て青天竹亭愛寶翁船の諸氏中心となり新に發行せられたもので廣く全鮮から會員を募つてゐる會費は金十錢（非賣品釜山富平町一の三四有田方花筏會）

▲日本幼年（二月號）四谷戰の繪の外に玉乘りの組合せ繪があり更に小さな面白い繪の澤山あるのに紀元節のお飾りの附錄が添へられてゐる（定價金十錢東京本郷區彌生町東京社）

本邦及英米國政府專賣特許

滋養强壯料

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲

▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

河合龜太郎氏創製

◎肝油ドロップス

肝油が一般の虛弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺ぐべからざる滋養劑として內科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓子ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆每に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき『肝油ドロップス』を創製す、本品は從來、肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、醱酵の候と雖も、冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり。

（現品縮寫圖）

用法　普通菓子の如く食すべし、又は飲みて以て嚥下に、或は冷水又は微溫湯にて嚥下にするも妨げなし

專賣特許 ◎ 登錄商標　肝油ドロップス　肝油の含量一顆一瓦に溶して麥芽糖及び含窒素性物を以て成る

登錄商標 ◎ 專賣特許　複方肝油ドロップス　肝油の含量を半減して有機燐・有機鐵及び石灰を含有せしむ

如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし

一、顏の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が悪くザラ〳〵してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の目立て瘦せてゐる人
一、手足が冷て寢られぬといふやうな纖弱い人
一、色が蒼くて肉瘦せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頰が瘦け、喉や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顏や手先きを滑こくし度人
一、產前產後の滋養を計らうとする人

如斯人は滋養料◎復方肝油ドロップスを用ふべし

一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病（瘰癧）に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血症になつてゐる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、腦神經衰弱、ヒポコンデリー、ヒステリーなどの神經病に惱まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器神經衰弱に罹れる人
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臟病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

▲賣捌＝全國到る處の藥舖。洋酒食料品店。化粧品店。小間物店▼

本舖　ミツワ石鹼　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元 ◎（登錄商號）丸見屋商店

東京市日本橋區橋町四丁目　藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

電信略號○ミヤ……振替口座東京七一〇番　營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

新刊書御案內

書名	著者	定價
◎朝鮮法令輯覽	朝鮮總督府	九、〇〇
◎大日本國語辭典	上田 松井	特五、〇〇
◎朝鮮產業指針		五、〇〇
◎帝國歲計沿革史	鈴木敬親	特五、五〇
◎日本家庭百科事彙	芳賀 下田 二冊特價	八、〇〇
◎英獨佛と殖民地	高桑駒吉	一、四〇
◎歐羅巴と東洋		一、三〇
◎三國同盟と露佛同盟		八〇
◎獨逸皇帝大野心論	樋口麗陽	八五
◎日蓮上人（縮刷）	笹川臨風	五〇
◎木下藤吉郎	桃李	三〇
◎赤穗義士	如燕	三〇
◎新譯アラビアンナイト	杉谷代水譯	一、八〇
◎御伽四十八番	藤水 淡水	六〇
◎スケーチング	河久保子郎	六〇
◎新選圍碁全集	鈴木爲次郎	一、〇〇
◎現今名家碁戰	第二卷	一、〇〇
◎大正五年國民年鑑	國民新聞社	五〇
◎朝鮮鐵道旅行案內	鐵道局	七〇
◎瓦斯發動機と瓦斯力發電	近藤	一、二〇
◎土木工學 上卷	川口外五名	二、五〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三

京城學校組合告示第一號

京城學校組合區域內ニ居住スル兒童ニシテ明治四十二年（己酉）四月二日ヨリ同四十三年（庚戌）四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月ヨリ以テ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戶籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十九日限リ京城學校組合又ハ京城府廳出張所ニ提出スヘシ

大正五年一月十日　京城府尹　金谷充

美人

（縱五寸五分橫四寸）露骨〇〇男女〇〇寫眞三枚組◎送料共三十錢（切手一割增）大阪中之島二 美泉堂

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
秀吉丸　一月十日　後四時出帆
大有丸　一月十三日　後四時出帆
神代丸　一月十九日　後四時出帆
蛟龍丸　一月廿六日　後四時出帆
君が代丸　月　日　後四時出帆
仁川海岸通二丁目電話五十九番　尚杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行　立神丸　一月十一日後五時出帆
○元山清津浦鹽行　立神丸　月　日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　小倉丸　一月　日後五時出
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　月　日後十時出
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　一月十　日後九時出
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　一月　日後六時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天眞丸　毎月二日九日十六日廿三日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町 大池回漕部

湖津沿岸各港を經て雄基行　第一共同丸　月　日前八時出帆
第二共同丸　月　日出帆

阿波共同汽船仁川出帆

第二共同丸　芝罘、大連行　一月九日後二時入　一月十一日前九時出
大連芝罘にて特島行定期船に接續し旅客貨物取扱仕候

第一阪鶴丸（元山出帆）　月　日後九時出港
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目（電話一〇八番）山下回漕部
元山代理店（電話二四四七番）田口回漕部
京城取次店（電話二〇一七）河村運送店

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
須磨丸　一月十七日
天智丸　一月十三日　午後五時出帆
溫州丸　一月十一日
○木浦、釜山、長崎行
安東丸　一月十　日
城津丸　一月十七日　午後二時出帆
○大連行
安東丸　一月廿日
城津丸　一月十三日　午後二時出帆
◎木浦大阪行　臺北丸　一月　日　正午出
◎群山神戶大阪行　油頭丸　一月　日　後五時出
○群山、釜山、橫濱行　チョイサン丸　一月十五日
潮州丸　一月廿六日　午後四時出帆
○大連直行　潮州丸　一月廿一日　正午出帆
○清津、浦潮行（元山出帆）
地久丸　一月　日
神宮丸
大智丸　一月十九日　午後二時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
新高丸　一月十七日
安平丸　一月廿六日　午前四時出帆
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二〇番五五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社支店

朝鮮郵船出帆

本社 京城南大門通　松原運送店
全羅丸　一月廿三日
京畿丸　一月十三日　釜山發
黃海丸　一月廿七日
咸鏡丸　一月十七日
慶城丸　一月廿四日
昌平丸　一月十四日　元山發
鏡城丸　一月十八日
平壤丸　月　日　元山發
忠清丸　月　日　元山發
永興丸　毎月廿八回　元山發
盈德丸　一月十五日　釜山發
江陵丸　毎　月　日（釜山 浦項）發
襄陽丸
三浦丸　一月十五日　釜山發
海州丸
巨濟丸
杭州丸
慶寶丸　日　釜山發
順天丸　三日目毎　木浦發
慶興丸　一月十六日　木浦發
公州丸　一月十二日　木浦發
公州丸　一月十二日　木浦發
金州丸　一月十五日　仁川發
江原丸　一月十六日　仁川發
麗水丸
晉州丸　一月十三日　一月十八日　仁川發
錦江丸
南陽丸　毎日午前　仁川發
平安丸　一月十三日　一月十八日　群山發　若松發

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行
相模丸　一月廿八日　正午出帆
三河丸　一月十九日　正午出帆
淡路丸　一月十二日　正午出帆
仁川海岸町一丁目電話十一番　堀回漕部

▲本日の現物界　十日の三月限